

第七十五回
帝國議會
貴族院

鑛業法中改正法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和十五年三月十九日(火曜日)午前十時
十九分開會

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ昨日ニ
續イテ委員會ヲ開催致シマス、速記ヲ止メ
マシテ、暫ク懇談ニ移リタイト思ヒマス
(速記中止)

○委員長(子爵保科正昭君) 速記ヲ付ケマ
シテ……

○秋田三一君 私ハ昨日石油ニ關シテ我が
國ニ於ケル現在ノ需要竝ニ供給ノ關係ヲ當
局ニ御尋ネ致シマシタガ、若シ説明ノ準備
ガ出來テ居ルヤウデゴザイマシタラ、簡單
デ宜シウゴザイマスカラチヨット御伺ヒシタ
イト思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 今燃料局ノ其ノ
係ノ者ガチヨット外ノ委員會ニ呼バレテ行ッ
テ居リマスカラ、ソレガ參リマシテカラ御
説明申上ゲマス

○秋田三一君 ソレデハ私ハ今回ノ改正案
ニ於キマシテ炭化水素ヲ主成分トスル天然
瓦斯ヲ石油ト見做スト云フコトニナリマシ
テ、新タニ法定礦物ノ中ニ追加サレタコト
ニ付キマシテ、少シク御伺ヒシテ見タイト
思フノデアリマス、第一ニ私ノ承知シテ居
リマスル範圍内デハ、此ノ炭化水素ヲ主成
分トスル天然瓦斯ハ地質學者ノ説ト致シマ
シテ、我が國土ノ大部分ヲ占メテ居リマス
ル第三紀層及第四紀層ノ地質デアアル平坦ナ
土地ニ存在スルモノデアリマシテ、其ノ存
在ノ地域面積ハ我が國土ノ平原面積ノ大部
分ト見テ宜カラウト思フノデアリマス、之

ニ付キマシテ當局ノ御見込ハ如何デアリマ
スカ、第一ニ之ヲ御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、續イテ私ノ御尋ネシタイコトヲ次々申上
ゲテ見タイト思ヒマス、次ニ此ノ天然瓦斯
ノ水ニ對シマスル溶解度ハ壓力ニ比例スル
モノデアリマシテ、即チ地面カラ約百間下
ノ十氣壓ノ所ニ於キマシテ水ト瓦斯ノ容量
ハ等量デアリマス、換言シマスルト一石ノ
水ノ中ニ一石ノ瓦斯ガ溶ケテ居リマス、又
約二百間ノ下ノ二十氣壓ノ所デハ水ニ對シ
テ二倍ノ容量ノ瓦斯ガ溶ケテ居ルノデアリ
マス、換言シマスルト一石ノ水ノ中ニ二石
ノ瓦斯ガ溶ケテ居ルノデアリマス、從ヒマ
シテ地下層ガ移動スル場合ニハ、右ノヤウ
ナ狀態デ瓦斯モ亦水ト共ニ移動スルモノト
見テ差支ナイモノデアリマス、又水ニ溶解
シテ居ル此ノ天然瓦斯ハ壓力ガ減少スレバ
水ト分離シマシテ、上昇セムトスルノデアリマ
スガ故ニ、地層ノ龜裂ニ沿フテ分散シ、地盤
ノ下ニ瀰漫セムトスル性質ヲ有ッテ居リマ
シテ、普遍的ニ存在スルモノデアリマス、
此ノ點ガ石油ト異ッテ居ルノデアリマシテ、
石油ハ地層中ノ背斜ニ集積スルモノデアリ
マシテ、從ッテ特定ノ地域、特定ノ地層カラ
之ヲ射出スルノデアリマスケレドモ、此ノ
天然瓦斯ハ其ノ存在スル地方デハ、何處ヲ
掘ッテモ之ヲ射出スルコトガ出來ルノデアリ
マシテ、又極メテ淺イ所ノ淺層中ニ之ヲ容
易ニ射出シ得ル所以デモアルノデアリマス、
此ノ天然瓦斯ガ普遍的ニ廣ク平原ニ地下水
ト共ニ在ッテ容易ニ射出シ得ルコトヲ例ト

致シマシテ、近ク本所トカ、深川、蒲田、
鶴見、川崎等ノ工場地ニ於キマシテハ、井
戸ト云フ井戸ハ何レモ若干ノ天然瓦斯ハ出
テ居リマス、深い井戸カラハ相當量ノ天然
瓦斯ガ出テ居ルノデアリマス、紡績會社ナ
ドデモ井戸ノ「メタン」瓦斯ニハ隨分困リマ
シテ、井戸ヲ掘ル場合ニ請負ニ出ス仕様書ニ
ハ常ニ「メタン」瓦斯層ノ水ヲ避ケル意味ノ
簡條ガ付テ居ルト云フコトデアリマスガ、之
ヲ以テモ普遍的デアルト云フコトガ分ルノ
デアリマス、私ガ承知シテ居リマスル静岡
縣ノ或工場ノ如キモ工場用水ヲ採ル爲ニ井
戸ヲ掘リマシタ處ガ、瓦斯ガ澤山出マシテ
卽ち工合ガ惡クテ困ッテ居ル例ガアルノ
デアリマス、斯ノ如ク此ノ天然瓦斯ト水ト
ノ關係ハ密接デアリマスル結果ト致シマシ
テ、次ノヤウナコトガ起リ得ルト思フノデ
アリマス、即チ今日ノ生産界ニ於テ水ガ必須ノ
モノデアルト云フコトハ今更申ス迄モナイ
所デアリマスルガ、工場ニ於キマシテハ機械運
轉ノ冷却水トカ、或ハ汽罐用水、洗滌用水、
其ノ他作業上必須ナ水ノ量ハ、工業ガ大規
模ニナレバナルタケ多量ノ水ヲ必要トシマ
シテ、水ハ實ニ工場設置ノ第一條件トナッテ
來テ居ルノデアリマス、又地下水ヲ採ッテ灌
溉耕作用ニシテ居ル例モ少クナイト思フノ
デアリマス、若シ是等炭化水素ヲ主成分ト
スル天然瓦斯ヲ石油トシマシテ鑛業權ノ目
的物トシ、此ノ普遍的ニ存在スル我が國ガ、
國土ノ面積ノ大部分ヲ鑛區トシタナラバ、
地下水ヲ採集ヲ禁ジ、又從來ノ土地所有權

カラ水ヲ奪フト云フヤウナ結果ニナリマシ
テ、工業上、耕作上、産業界ニ少カラザル
混亂ヲ來スコトト思フノデアリマス、之ヲ
譬ヘテ申シマスレバ、先程申シマシタヤウ
ニ本所、深川、蒲田等ノ工場地ニハ皆天然
瓦斯ガアルノデアリマスルガ、此ノ改正案
ニ依リマスルト云フト、石油ノ鑛區ト爲シ
得ラレルト思フノデアリマス、若シ他人ガ
是等ノ土地ニ早ク鑛區ヲ出願シマシテ、此
處ニ試掘權ナリ、何カ鑛業權ヲ得マシタナ
ラバ、其ノ地上ニ在ル工場ガ、前記工業用
水ヲ地下水ニ求メル場合ニハ、何レモ鑛業
權侵害ト云フヤウナコトニナルノデハナイ
カト思フノデアリマス、從ッテ若シ惡イ者ガ
出テ來マシテ、何カ強請ノ種ニ是等ノ工場
地ニ持ッテ行ッテ鑛區ヲ出願シマシテ、サウ
シテ是等ノ井戸カラ工業用水ヲ採ッテ居ル
所ニ、皆鑛業權ノ侵害デアルト云フ訴訟ヲ
起サナイトモ限ラナイノデアリマス、又一
面カラ見マスルト、是等ノ工場ノ方デモ、
斯ウ云フ問題ヲ避ケル爲ニハ皆自己ノ鑛區
ヲ取ッテ問題ノ起ラナイヤウニスル必要ガア
ルカト思ヒマス、從ッテ定款ノ變更ヲヤッテ
紡績會社モ、或ハ又菓子製造會社、製粉會
社等、有フル工場ヲ有ッテ居ル會社ハ皆鑛業
ヲ營業科目ノ中ニ入レマシテ、石油ノ採掘
ヲスルト云フヤウナ珍現象ヲ來タスト思ハ
レマスルガ、是等ニ對シマシテハ當局ハ如
何ナ御所見デアリマセウカ、斯ノ如ク天然
瓦斯ハ地下ニ於テ水ニ溶解シ移動性ガアリ
マス、淺層中ニ普遍的ニ存在シ、特ニ多ク

ノ場合人ノ生活上必須ノ水ト不可分關係ガアルト思ハレマシテ、此ノ點ハ特殊ノ地域ト、特定ノ地層トニ集積シテ居ル石油トハ存在ノ狀態ガ異テ居ルノデアリマスルガ、ドノ點カラ見ラレマシテ、此ノ天然瓦斯ヲ石油ト見做スコトニナツタノデアリマセウカ、又新タニ之ヲ石油トシテ法定鑛物ノ中ニ加ヘラレマシテ、ドンナ御便利ト御利益ガアルノデアリマセウカ、明治四十二年七月五日行政三部四萬百十七號ニアリマスガ、嘗テ長野縣諏訪湖畔ノ地域ガ試掘却下トナリマシタノデ、行政訴訟ノ後敗訴トナリマシタ、其ノ理由ト致シマシテ天然瓦斯ハ石油トハ異種ノ鑛物デアアルハ詰リ違ツタ鑛物デアアルト云フコトデアリマス、私モ前申上ゲマシタヤウナ色々ノ點カラシマシテ石油トハ違ツタ異種ノ鑛物トシテ取扱フベキモノデハナイト思フノデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、最後ニ本案御提出ノ説明ニ於キマシテ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ其ノ使用法ガ大イニ開拓セラレルニ至ツタ、爰ニ地下ニ埋藏スル炭化水素ヲ主成分トスル此ノ天然瓦斯ハ地下資源トシテ極メテ重大ナ意義ヲ有スルニ至ツタ、斯ウ云フ風ニ申サレマシタガ、誠ニ其ノ通りデアリマス、此ノ天然瓦斯ニ於キマシテ他ノ法定鑛物ト異ナリマシテ、先ヅ其ノ使用設備ノ開拓ノ保護助長ヲセラレ、重ク先ニシマシテ、掘探ノ簡單ナ多ク資本ヲ要シナイ石油ノ方ハ、比較ノ輕ク後ニスベキモノカトモ考ヘルノデアリマス、此ノ點カラ考ヘマシテ附則ノ經過規定ハ極メテ大切デアリマスルガ、此ノ附則第四條ノ規定ニ依ツテ許可セラレル所ノ掘探區域ノ範圍ハドンナモノ

デアリマセウカ、具體的ノ例ヲ舉ゲテ申シマスルト、或發明特許ヲ有シテ居リマシテ、重要ナ藥品ヲ此ノ地下水カラ採テ居リマシテ、最近厚生省カラ増産方ヲ督促サレマシテ、設備擴張中ノモノガアルノデアリマスルガ、是ハ其ノ燃料用動力用トシテ其ノ取出シテ居ル地下水ニ伴フ天然瓦斯ヲ利用シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キハ茲ニ所謂利用法ヲ大イニ開拓シタモノデアアルト思フノデアリマシタ、此ノ工場ノ下ハ他ノ人ガ既ニ石油試掘權ヲ持ツテ居リマス、從來ハ土地ノ所有權トシテ此ノ水ヲ取ルノハ何等差支ナクヤツテ居ツタノデアリマシテ、是カラ藥品ヲ取り、又瓦斯ヲ分離シテ之ヲ燃料ニ使ツテ居ツタノデアリマスルケレドモ、本改正案ガ出マスト、此ノ工場ノ如キハ忽チ鑛業權ノ侵害デ、廢業シナケレバナラナイノデハナイカト思フノデアリマス、折角天然瓦斯ノ鑛物トスル必要ヲ起ス迄ニ利用法ヲ苦心致シマシテ、開拓シテ來タ學句ニ、其ノ設備ハ取止メ、廢業シナケレバナラナイト云フノハ、誠ニ不都合ナルコトナルト思フノデアリマスガ、幸ニ此ノ經過規定ニ依ツテ此ノ邊ハ十分差支ナイヤウニ決メラレテ居ルヤウナ風ニ考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ種類ノモノニ對シマシテ、第一ニ從來ノ地下水ノ利用ニ差支ヲ生ゼシメナイコトハ勿論、地下水利用者ニ天然瓦斯ヲ使用セシムル御趣旨デアリマセウカドウデセウカ、又天然瓦斯掘探ノ坑井、……井戸デアリマスガ、坑井ハ淺層中カラ採ルモノデアリマシテ、簡單ナ代リニ其ノ壽命ハ極メテ短期間ノモノデアアルノデアリマスルガ、現在貫井シテ居リマスル所ノ、此ノ貫井ノ區域ニ限定シタナラバ、掘探ヲ禁止スルト同様ノ結果ト

ナルモノデハナイカト思フノデアリマスガ、新タニ許可セラレマスル方針トシマシテハ、現ニ掘探シテ居ル區域ノミナラズ、其ノ影響スル區域ト將來ノ豫定計畫區域ヲモ許可セラレル御意嚮デアリマセウカ、以上ノ點ニ付テ當局ノ御意嚮ヲ伺ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 一括シテ御答申上ゲマス、物理的の見地カラノミ申上ゲマスト、御質問ノ如ク天然瓦斯ハ第三紀層及第四紀層中ニ普遍的ニ存在シ得ルト云フコトガ出來ルヤウデアリマス、併シナガラ其ノ瓦斯ガ果シテ鑛業法ノ適用ヲ受ケル程度ニ達スルモノデアアルカ、ドウカト云フコトガナカノ一概ニハ申上ゲラレナイ實情ニアルト存ジマス、鑛業法ノ適用ヲ受ケル爲ニハ相當多量ニ集中シテ存在シテ、而モ鑛業的價值ガアルト云フコトガ前提ニ相成ルノデアリマス、ソレハ恰モ第三紀層中ニハ炭化物ガ相當普遍的ニ存在シテ居リマスルケレドモ、ソレガ鑛業法ノ所謂石炭又ハ亞炭ト云フ爲ニハ炭層ヲ爲シテ存在シテ、而モ鑛業價值ヲ有スルモノデナケレバナラナイト云フコト、全ク同様ニ解スベキモノデアルト存ジマス、又サウ云フ取扱ヲスル方針デゴザイマス、從ヒマシテ人間ノ生活ニ必要ナ地下水ヲ掘ルト云フ如キ場合ニ隨伴シテ、或程度ノ天然瓦斯ガ伴ツテ出ルト致シマシテモ、ソレハ固ヨリ鑛業法ノ適用ヲ受ケベキ範圍デハナイノデアリマス、經濟的利用價值ノ如何ニ依ツテ鑛業法ノ適用ヲ受ケ得ルヤ否ヤヲ決定スルノデアリマス、殊ニ鑛業法ハ公益ヲ害スル場合ニハ、鑛業權ノ設定ヲシナイ、又公益ヲ害スルモノト認メタ時ハ鑛業法ノ第三十二條ニ於テ鑛業權ノ出願ヲ許可シナイノミナラズ、鑛業權ニナリ

マシテモ、公益ヲ害スルモノト認メタ時ハ主務大臣ハ其ノ鑛業權ヲ取消スト云フ規定ガ鑛業法第三十九條ニアリマスカラ、ソレ等ノ點ハ鑛業偏重ノ爲ニ公益ヲ害スルト云フヤウナコトハ起リ得ナイト存ジマス、天然瓦斯ノ存在スル地方ト其ノ大體ノ面積デアリマスルガ、私共ノ手許デ分ッテ居リマスル範圍ハ、大體北海道、青森縣、秋田縣、山形縣、宮城縣、福島縣、千葉縣、神奈川縣、靜岡縣、新潟縣、長野縣、鹿兒島縣ト云フ風ニ、マダ其ノ外ニモアルカモ知レマセウカ、大體私共ノ所デ分ッテ居ルノハ是等ノ地方デアリマスガ、其ノ面積モ正確ナコトハ申上ゲラレマセウカ、極ク大難把ナ所デ二億三千萬乃至四千萬坪位ノ所ハ大體分ッテ居ルト申上ゲテ宜シト存ジマスソレカラ天然瓦斯ヲ石油ト看做スコトト致シマシタ原因ハ、天然瓦斯ノ所謂炭化水素ト申シマスカ、天然瓦斯ト石油含有層ト密接ノ關係ノアル瓦斯トノ區別ガ容易ニ付キ兼ネルト云フヤウナ點モアリマスルシ、又之ヲ地下資源トシテ保護スル、又其ノ利用價值ヲ大キクスルト云フ必要カラ出タノデアリマスルガ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ、現在鑛業的ニ利用セラレルモノヲ學理上區別スルト、大體所謂石油瓦斯ト、石油瓦斯ニ準ズルモノト二ツニ分ケ得ルヤウデアリマス、即チ俗ニ石油瓦斯或ハ準石油瓦斯、此ノ二ツニ分ケ得ルヤウデアリマス、所謂石油瓦斯ナルモノハ現在鑛業法第二條ノ第二項ニ「含有層ト密接ノ關係アル可燃質天然瓦斯」トアリマスガ、之ヲ指スモノデアリマシテ、第三紀層ニ胚胎スル通常石油ト共ニ產出セラレルト云フ狀態デアリマス、處方他方準石油瓦斯ト云フ

ノハ、石油瓦斯と同様ニ多クハ第三紀層中ニ胚胎シテ居ルヤウデアリマスガ、含有層中カラ産出セラレモノデハナイト云フノデアリマス、從ヒマシテ此ノ準石油瓦斯ノ場合ニハ石油同ノ一ノ鑛床中ニ存在セザルモノガ、石油ト云フ鑛物ノ中ニ包含セラレ取扱ナルモノデアリマス、具體的ニ掘採セラレル所ノ天然瓦斯ガ、果シテ含有層ト密接ノ關係ガアルカドウカ、其ノ識別ガ技術的ニ非常ニ困難ナ場合ガ澤山アルヤウデアリマス、假リニ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ、含油層ト密接ノ關係ガアルカドウカニ依ッテ區別シテ開發セシメル建前ヲ採ルコトニ致シマス、却ッテ無用ノ混亂ヲ招ク結果トナルト思ハレマス、寧ロ從來ノ實績等カラ見マシテ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ハ一應之ヲ石油ト看做シテ、一ツノ鑛業權ヲ以テ之ヲ掘採セシムル方ガ合理的開發ガ出來、又其ノ利用價值ヲ増大スル所以デアアル、斯ウ云フ風ナ見解ニ到達致シタノデアリマス、ソレカラ次ニ現實ノ問題トシテ、地下水ノ中ニ或種ノ藥品ガ少量部分デアアルガ含有サレテ居リマシテ、之ヲ抽出スルコトニ依リマシテ、非常ニ有益ナ藥品ト云フヤウナモノヲ造リ出ス、斯ウ云フモノガアルコトハ私共モ豫ネテ伺ッテ居リマス、處ガソレハ秋田サンガ御説明ニナリマシタヤウニ、瓦斯ヲ含ンデ居ル地下水デアルト云フコトモ私共承知致シテ居リマス、ソコデ是ガ炭化水素ヲ主成分トスル瓦斯ト共ニアツタ場合ニ於テハ、只今ノ仰セノヤウニ色々ノ問題ヲ起ス虞ガゴザイマス、唯將來ドウシタラ宜イカト云フ問題モアリマスガ、是ガ公益上ノ問題トナッテ參リマス場合ニハ、別ニ處理ノ道ガゴザイ

マスルガ、所有權ノ效果トシテ、出テ來ル所ノ地下水ヲ汲上ゲル權利ト、此ノ鑛業權トノ關係ニナッテ參リマス、相當マア面倒ナ問題ガ起リハシナイカト斯ウ考ヘラレマサガ、併シナガラ今後サウ云フヤウナモノガ澤山出テ來タ場合ニハ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ採取スルガ宜イカ、或ハサウ云フ貴重ナ藥品ヲ採取スルガ宜イカト云フヤウナ問題ノ具體的解決ニ俟ツヨリ外ナイト存ジマスガ、只今御例示ニナリマシタヤウナ場合ニハ、大體御指摘ニナリマシタヤウニ、附則デ其ノ間ノ調整ヲ全部規定致シテ居リマス、此ノ改正法律案施行ノ際現ニ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル者又ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ノ施行ノ日カラ六箇月間ハ從前ノ例ニ倣ッテ其ノ掘採ヲ繼續スルコトガ出來ル、此ノ期間内ニハ試掘又ハ探掘ノ出願ヲ爲セバ、許可ノ登錄ノ日又ハ不許可ノ指令ノ日迄掘採ヲ繼續シ得ル、是ガ附則第三條デアリマス、ソレカラ又此ノ法律ノ施行ノ際現ニ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スル者ガ、本法施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ試掘又ハ探掘ノ出願ヲ爲シタルトキハ、其ノ掘採區域ニ付テハ鑛業法ノ一般原則ノ適用ヲ解除致シマシテ、其ノ者ニ對シテ優先的ニ許可ヲ與ヘルト云フコトガ附則第四條及第五條ニ規定シテアリマス、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ノ掘採區域ガ他人ノ石油鑛區ト重複スル場合ニ於テハ、其ノ重複スル部分ニ付テハ、本法施行ノ當時炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ掘採スルモノ等ハ、天然瓦斯ノミヲ掘採シ得ルニ對シテ、石油鑛區ノ鑛業權者ハ、天然瓦斯以外ノ石油ヲ掘採シ得ルコト云フノガ附則第六條第二條ノ

規定デゴザイマス、大體マア先ニ石油ノ試掘鑛區ガアリマシテ、其ノ上デ此ノ炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ採取シテ居リマシタ場合ニハ、其ノ重複スル部分ニ付キマシテハ、結局石油ヲ目的トスル試掘權者ハ石油ヲ採ル權利ヲ有テ、炭化水素ヲ主成分トスル瓦斯ヲ採ル者ハ、其ノ瓦斯ヲ採取スルコト云フコトニ相成ルモノト存ジマス、ソレカラ只今御例示ニナリマシタヤウニ、地下水ニ貴重ナル藥品ヲ含ンデ居ルヤウナ場合デゴザイマスガ、是ハ本改正案ノ實施ニ依リマシテ、其ノ作業ガ阻害セラレルト云フヤウナコトデアッテハ相成リマセヌノデ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ノ掘採ハ、其ノ性質上、マア大體坑井ノ壽命ガ短ク、一定ノ期間掘採ヲ繼續シタラ、坑井ノ位置ヲ移動シテ新シイ所ニ井戸ヲ掘ラナケレバナナイト云フノガ今日迄ノ實情デアリマス、今後モサウダラウト信ジテ居リマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、淺イ層カラ炭化水素ヲ主成分トスル瓦斯ヲ採ルノモ此ノ通りデアリマスカラ、況ヤ地下水ヲ採ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、サウ深イモノデハナイノデアリマスカラ、炭化水素ヲ主成分トスル天然瓦斯ヲ採ル場合ニ於テモ、サウ云フ用意ヲ致シテ居ル位デアリマスカラ、御例示ニナリマシタヤウナ貴重ナル藥品ヲ含ンデ居ル水ヲ採ルヤウナ場合ニ付キマシテハ、殊更其ノ點ハ十分考ヘナクテハナラヌト私共モ承知致シテ居リマス、ソコデ從前ノ掘採區域ハ當然其ノ者ニ與ヘラレルト云フコトデアリマスガ、其ノ從來ノ掘採區域ト云フノハ、其處ニ井戸ガ何本アルカ知レマセヌガ、其ノ井戸ノアル範圍ノミヲ指シモノデナイコト

ハ言フ迄モナイト存ジマス、事業ノ計畫豫定地ハ、當然從前ノ掘採區域ト稱スベキデアルト、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、其ノヤウナ取扱ヲスル積リデアリマス、唯如何ナル範圍迄事業計畫ノ豫定地ヲ認メルカト云フコトニ付キマシテハ、色々ナ事情ヲ調査シテ、綜合的判斷ノ下ニ決定ヲ下スヨリ外ナイト存ジマス、具體的ニ各場合ニ付テ其ノ從前ノ區域ヲ定メルト云フコトニ致スヨリ外ナイト存ジマス、唯御例示ニナリマシタヤウナ場合ニ付キマシテハ、用意モ致シテ居リマスルシ、更ニ今後具體的ニ問題ノ重要性ニ依リマシテ十分賦存ノ狀態ハ尊重シテ參リタイト存ジマス、況ヤ其ノ事業ガ國家有用ノモノデアル場合ニ於キマシテハ、特ニ留意致シタイト存ジマス

○委員長(子爵保科正昭君) 秋田君ニ申上ガマスガ、マダ御質問ハ盡キナイト思ヒマス、石油ニ對スル質問ガ殘ッテ居ルノデアリマスガ、政府委員ガオイデニナリマシタラ……

○秋田三一君 オイデニナリマシタラ……

○倉知鐵吉君 外ニアリマセヌナラバ、私伺ヒタイ

○委員長(子爵保科正昭君) 質問ガ繼續シテ居リマスカラ……

○秋田三一君 其ノ間ニ御尋ネシテ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) 宜シウゴザイマス

○秋田三一君 昨日安場男爵カラ御質問ガアリマシタ時ニ聞イテ居リマシタガ、試掘權ヲ掘採ニスル場合ニ、ソコニ現實ニ鑛物ノ存在シテ居ルコトヲ、證明スル方法ト

シマシテ、學說デモ差支ナイト云フ御話ガアリマシタガ、山口縣ノ宇部地方ハズット海中遠ク深く掘鑿シテ居リマシテ、其ノ先キニ新シク試掘權ヲ取ツテ居リマス、之ヲ採掘權ニスルニハ新タニ試掘「ボーリング」シテ行クヤウニナル御考デアリマスカ、アノ地方ニ付テハ今ノ處ドシテ御考ヲ持ツテ居リマスカ

○政府委員(小金義照君) マア矢張り鑛物ノ存在ヲ證明スルコトデ、一番難シイノハ私ハ海底デヤナイカト思ヒマス、深山トカ不便ナ所ト云フノハ、是ハ或程度ノ努力ト人夫ヲ使ヘバ出來ルト云フヤウナ話モ伺ッテ居リマスガ、海底ハ矢張り相當ナ機械力ヲ利用シナイト、本當ノ所ガ分ラナイト云フヤウナコトヲ私共ハ承知致シテ居リマス、唯宇部ノ沖ノ海底トカ、或ハ有明ノ海ノ海底トカ云フヤウナ所ニハ、モウ今日ノ狀態ハ殆ド「ボーリング」ヲ下ロシテ居ルコトモ聞イテ居リマスガ、先ヅ鑛物ノ存在ヲ證明スルコトハ可能デアルト私共ハ考ヘテ居リマス

○委員長(子爵保科正昭君) 秋田君ニ申上ガマスガ、柳原事務官ガ一寸外ノ委員會デ御出デガ出來ナイサウデゴザイマスガ、後ニ願ヒマス

○秋田三一君 宜シウゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) デハ外ノ方ヨリ御質問ガアリマシタナラバ、御發言願ヒマス

○倉知鐵吉君 附則ノ第十條、之ニハ修正ガアリマスガ、修正ノコトヲ申上ガマスト混雜シマスカラ、原案ニ付テ御尋ネ致シマス、石油ノ目的トスル試掘權ニ付テハ主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認ムルトキハ四年以内ノヲ延長スルコトヲ得「ト、已

ムヲ得ザル事由ト云フノハドウ云フコトヲ豫想シテ居ルンデスカ、ソレカラ之ヲ延長スルノハドウ云フ譯デゴザイマスカ、ソレヲ御説明願ヒタイ

○政府委員(小金義照君) 附則第十條ノ規定ノ立法理由ハ、石油ノ賦存狀態ガ我が國ニ於テハ相當ナ深層部ニナツテ居ル、而モ相當地層ガ採メテ居ルト云フヤウナ關係デ、試掘ハ容易デナイ、斯ウ云フヤウナ地質學的ナ原因、茲ニ鑿井技術ノ方面カラ見マシテ、日本ニハ巧ミナ鑿井技術ヲ持ツテ居ル者ガ、比較的少イト云フヤウナコトカラ、現ニ石油鑛區トシテ保有セラル、モノヲ、全部四年デ打切ツテシマフト云フコトハ、少クトモ妥當デナイト云フ見地カラ、斯ウ云フ規定ヲ置イタルデアリマス、モウ一ツハ政府ガ五箇年計畫デ相當ナ資金ヲ出シマシテ、或ハソレハ試掘助成金ト云フ形デ出シテ居ルト存ジマスガ、サウ云フ金ヲ出シ、又色色指導の見地カラ、各方面ニ互ツテ計畫のニ石油試掘、鑛區ノ試掘ヲヤルト云フヤウナ計畫モアリマシテ、片一方デ政府ガ五箇年計畫ト云フヤウナモノヲヤツテ居ルノニ、鑛業法ノ試掘權ダケガ四年デ終ルト云フコトハ、稍、矛盾ヲ來シマスノデ、ソレデ追加のニ何年カ延バス方ガ妥當デアラウト云フノデ、延バシ得ルト云フ規定ヲ設ケタノデゴザイマス、「已ムコトヲ得ザル事由」ト此處デ申シマスノハ、石油ハ特殊ノ技術ヲ其ノ鑿井ニ付テ必要ト致シマスノデ、サウ云フ技術ヲ得ラレナイトカ、或ハ一本掘ッテ見タ所ガ、ソレガナカノ一本ダケデハ不十分デアルト云フヤウナ場合ニ、更ニ一本乃至二本ノ試掘井ヲ掘ラナケレバナラスト云フヤウナコトモアリマスノデ、ソレ等ノ點

ヲ能ク調査致シマシテ、全ク已ムヲ得ナイト云フヤウナ場合ニハ、主務大臣ハ其ノ期間ヲ延長スル、斯ウ云フ取扱ヲスル積リデアリマスガ、金ガナイトカ、勞働力ヲ得ラレナカッタト云フコトガ、已ムヲ得ザル事由ニナルカドウカト云フコトニ付キマシテ、只今研究中デゴザイマス

○倉知鐵吉君 只今ノ御説明ハ分リマシタガ、今ノ御説明デアルト、何モ本法施行ノ際ニ現存スル石油試掘權ニ限ラズ、今後四箇年ノ期間デ許サレル試掘權ニ付テモ同じ但書ヲ附ケル方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、ソレハドウ云フノデスカ、

○政府委員(小金義照君) ソレハ色々技術の見地カラノ檢討ヲ願ヒマシタガ、現在ノ主ナル石油鑛業權者モ、將來設定セラルベキ試掘權ニ付テハ、是ハ四箇年デヤレル、唯今澤山ノ試掘鑛區ヲ包容シテ居ルノデ、ソレヲ順次政府ノ計畫ト步調ヲ合セテヤツテ行クノニ、四年間デハ足ラナイト、斯ウ云フ見解ニ基イタルデアリマス

○倉知鐵吉君 今度ハ衆議院ノ修正ノコトニ付テ御尋シマスガ、修正ニ御同意ニナツタノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(小金義照君) 私共ハ原案通りデ宜イト存ジマシタガ、矢張り金屬山其ノ他ノ鑛山ニ付キマシテモ、色々ナ事情デ、即チ主務大臣ガ已ムコトヲ得ザルト云フ事由ヲ認メタ時ハ、經過的ニ二年以内ノ期間延長ヲ認メテ置イタル方ガ便利デアラウト云フヤウナ趣旨ノ御修正デアリマスカラ、眞ニ主務大臣ガ已ムコトヲ得ザル事由ガアルカナイカト云フコトヲ其ノ際判定シテ宜シイノデ、ソコデ行政處分ニ依ツテ、期間ノ延長ヲ認メナイトカ、或ハ二年以内幾許カ延

長スルコトヲ決定スルト云フコトガ出來マスノデ、是ガ附イテ居リマシテモ、根本ノ趣旨ハ變リハナイト思ヒマスノデ、政府ハ兩院デ之ヲ御認メニナレバ、之ヲ尊重シテ之ニ從フト、サウ云フ御趣旨ニ私共承知シテ居リマス

○倉知鐵吉君 今ノ御趣旨デ御同意ニナルトスレバ、試掘權ノ一般原則ノ四箇年ニ對シテモ、已ムコトヲ得ザル事由ノアル時ニハ二年延長ナサツテモ差支ナイト思ヒマスガ、其處ノ御意見ハ如何デスカ

○政府委員(小金義照君) 試掘ハ既ニ四年ト云フコトデ、一回、已ムヲ得ザル事由ノ有無ニ拘ラズ延シテ居リマスノデ、其ノ四年以内ニ試掘ヲ完了シ得ルト云フコトハ認メ得ル、即チ百萬坪以下ノ鑛區デ、鑛區ハ百萬坪以下ト云フ制限ガアリマスカラ、百萬坪ノモノデアルナラバ、四年間デ十分デアル、唯經過的ニハ是亦相當試掘鑛區ヲ包容シテ居ラレル向モアリマスノデ、色々ナ都合デ、眞ニ已ムヲ得ザル事由ガアツタ場合ニハ延長ヲ認メルト、斯ウ云フ經過的ノ趣旨デアリマスカラ、根本原則ト牴觸シナイト云フ意味合ニ於テ、修正案デモ宜シイデハナイカト斯ウ云フデアリマシテ、根本ノ四年ニ付キマシテハ、何等期間ノ延長等ヲ圖ル必要ハナイト思ヒマス、之ヲ圖リマシテ其ノ延長ヲ認メマスルト、其ノ延長サレタ最長年限迄ガ矢張り習慣ニナル惧ガアリマスノデ、兎ニ角早イ機會ニ於テ鑛區ノ賦存狀態ノ基礎資料ヲ得タイト、斯ウ云フ趣旨デアリマスカラ、將來ノ試掘權ニ付キマシテハ、其ノ必要ハナイト存ジマス

○倉知鐵吉君 今ノ説明ハ少シ要領ヲ得マセス、何故カト申シマス、本當ニ已ムヲ

長スルコトヲ決定スルト云フコトガ出來マスノデ、是ガ附イテ居リマシテモ、根本ノ趣旨ハ變リハナイト思ヒマスノデ、政府ハ兩院デ之ヲ御認メニナレバ、之ヲ尊重シテ之ニ從フト、サウ云フ御趣旨ニ私共承知シテ居リマス

○倉知鐵吉君 今ノ御趣旨デ御同意ニナルトスレバ、試掘權ノ一般原則ノ四箇年ニ對シテモ、已ムコトヲ得ザル事由ノアル時ニハ二年延長ナサツテモ差支ナイト思ヒマスガ、其處ノ御意見ハ如何デスカ

○政府委員(小金義照君) 試掘ハ既ニ四年ト云フコトデ、一回、已ムヲ得ザル事由ノ有無ニ拘ラズ延シテ居リマスノデ、其ノ四年以内ニ試掘ヲ完了シ得ルト云フコトハ認メ得ル、即チ百萬坪以下ノ鑛區デ、鑛區ハ百萬坪以下ト云フ制限ガアリマスカラ、百萬坪ノモノデアルナラバ、四年間デ十分デアル、唯經過的ニハ是亦相當試掘鑛區ヲ包容シテ居ラレル向モアリマスノデ、色々ナ都合デ、眞ニ已ムヲ得ザル事由ガアツタ場合ニハ延長ヲ認メルト、斯ウ云フ經過的ノ趣旨デアリマスカラ、根本原則ト牴觸シナイト云フ意味合ニ於テ、修正案デモ宜シイデハナイカト斯ウ云フデアリマシテ、根本ノ四年ニ付キマシテハ、何等期間ノ延長等ヲ圖ル必要ハナイト思ヒマス、之ヲ圖リマシテ其ノ延長ヲ認メマスルト、其ノ延長サレタ最長年限迄ガ矢張り習慣ニナル惧ガアリマスノデ、兎ニ角早イ機會ニ於テ鑛區ノ賦存狀態ノ基礎資料ヲ得タイト、斯ウ云フ趣旨デアリマスカラ、將來ノ試掘權ニ付キマシテハ、其ノ必要ハナイト存ジマス

○倉知鐵吉君 今ノ説明ハ少シ要領ヲ得マセス、何故カト申シマス、本當ニ已ムヲ

得ザル場合、極ク稀ナル場合ニ限ツテ二箇年ノ延長ヲ許スナラバ、マア差支ナイと思フノデアリマスガ、其ノ程度ナラバ施行ノ際、バカリデナク、普通ノ試掘ノ場合ニ於テモ、本當ニ已ムヲ得ザル事故、例ヘバ急ニ地震ガアツテ設備ナシカガ壊サレタト云フヤウナ、左様ナ時ニハ二箇年ノ延長ヲ御認めニナツテモ一向差支ナイと思ヒマスガ、只今ノ御説明ダト、施行ノ際ニ限ツテ許シタト云フコトハ何モナラナイヤウニ思フノデスガ、從ツテ二箇年許シテ宜イナラバ、普通ノ場合モ二箇年御許シニナツテモ宜シイノデヤナイカト思ヒマスガ、モウ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

フ御考ヘデスカ、ドウシテモイケナイト云フノデスカ、ソコハドウナンデスカ
○政府委員(小金義照君) 兩院デ衆議院ノ修正案ヲ御認めニナリマスレバ、ソレハ尊重シテソレニ從フ、其ノ運用ノ場合ヲ具體的ニハ只今ノ處申上ガ兼ネマスガ、其ノ具體的ノ場合ニ付テ主務大臣ニ於テ已ムヲ得ザル事由アリヤ否ヤヲ認定シテ貰フヨリ外ナイト思ヒマス
○倉知鐵吉君 チョット私ノ御尋シタコトト違ツテ居リマスガ、私ノ御話シタノハ斯ウ云フコトデス、衆議院デ已ムヲ得ザル場合ニハ二箇年、施行ノ際ニ於ケル試掘權ノミニ付テ許シタ、マア賛成デヤナカッタガ、兩院ガ之ニ同意スレバマア同意シテモ宜シイト云フ御考ダト云フ御話デアリマスカラ、今度ハ他ノ問題ヲ出シタノデス、即チ試掘權ヲ四箇年トスルト云フ規定ニナツテ居リマスノニ、假ニ我々ガ之ニ修正ヲ加ヘテ、衆議院ガ施行ノ際ニ於ケル修正ヲシタ如ク、已ムヲ得ザル事情ガアル場合ニハ二箇年延長シテモ宜イト云フコトヲ修正シマシタラバ、矢張り衆議院ガ同意スルト云フコトヲ條件ニシテ、御同意ナサルカドウカト云フコトヲ御尋シタノデス

○委員長(子爵保科正昭君) 只今柳原政府委員ガ見エマシタノデ秋田君ニ御質問ヲ繼續シテ戴キタイト思ヒマス
○秋田三三君 我が國ニ於ケル石油ノ現在ニ於ケル需要ト供給、竝ニ今後ノ之ニ對スル當局ノ御方針ニ付テ承リタイト思ヒマス
○政府委員(柳原博光君) 今秋田サンノ御質問デアリマスルガ、需要ト供給ノ關係ハ數量的ニハ申上ガ兼ネマスルノデ、大體ノ狀況ヲ御話シテ見タイト思ヒマス、我が國ノ矢張り燃料政策ノ點カラ起ル問題デアリマスルガ、燃料政策カラ此ノ燃料自給自足ト云フ點ニ付テ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シマスル對策ト致シマシテ、國內資源ノ開發、人造石油ノ振興、海外資源ノ獲得、又代用燃料ノ利用ト云フヤウナ點ニ付テ考ヘテ居ル譯デアリマス、而シテ國內ノ石油資源ノ開發ハ、最近ニ於ケマシテ非常ニ助成モ致シテ居リマシテ、例ヘバ昨年度ニ於ケマシテハ、政府ガ助成致シテ居リマスル試掘ノ井戸數ハ、百五本デアリマス、ソレハ昨年度著手致シマシタ、即チ昨年度ト申シマス十四年度デゴザイマス、又十五年度ニ於ケマシテハ、百七十本ノ試掘井ヲ助成シテ參ル、而シテ此ノ石油ノ増産ニ對シテハ極力努力シテ居リマス、デ石油ノ試掘ニ關シマシテハ、從來矢張り是ハ正確ノ數字ハアリマセスケレドモ、常識的ニ色々御話ニナル間ニ六十本ニ對シテ一本當ルノダ、ソナモノダト云フヤウナ御話モアリマスルガ、是ハデス、矢張り地質ノ調査ト云フコトガ基礎ニナリマスノデ、從來地質ノ調査ヲ致シテ參リマシタ其ノ上ニ、尙地質ノ精査、即チ物理探礦ヲ應用致シマシテ、其ノ石油ノ賦存狀態ヲ正確ニ擧ツテ

○政府委員(小金義照君) ソレデアリマスカラ、其ノ點ハ必要ナイと思ツテ、原案ハ認メテ居リマセス、併シナガラ是ガ兩院ヲ通過サレタ場合ニハ、尊重スルト云フコトヲ政府ハ言明シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ附ケナケレバナラスト云フコトハ考ヘテ居リマセス、ソレカラ眞ニ已ムヲ得ザル事由ト云フノデ、地震ガアツタトカ、即チ天變地異ノ場合ニ於ケマシテハ、是ハ緊急勅令其ノ方法ニ依ツテ、此ノ法律ヲ一時何ト申シマスカ、修正スルヨリ外ハナイノデアリマシテ、是ハ大正十二年ノ震災其ノ他ニ於ケマシテ、緊急の處分ヲヤツテ居リマスガ、其ノ爲ニ此ノ改正法律案ノ骨子ニ於テ天變地異ヲ豫想シテ置ク譯ニ行キマセスノデ、是ハ四年デ宜シイト思ヒマス

○倉知鐵吉君 只今ノ御説明デソレデヤモウ試掘權ノ所ニ、衆議院ガ修正シタ如ク、已ムヲ得ズト認メタ時ニハ、二箇年ノ期間延長ヲスルト云フ修正ヲ致シマシテ、又兩院ガソレニ同意シタラバソレハ宜シイト云

○委員長(子爵保科正昭君) 只今柳原政府委員ガ見エマシタノデ秋田君ニ御質問ヲ繼續シテ戴キタイト思ヒマス
○秋田三三君 我が國ニ於ケル石油ノ現在ニ於ケル需要ト供給、竝ニ今後ノ之ニ對スル當局ノ御方針ニ付テ承リタイト思ヒマス
○政府委員(柳原博光君) 今秋田サンノ御質問デアリマスルガ、需要ト供給ノ關係ハ數量的ニハ申上ガ兼ネマスルノデ、大體ノ狀況ヲ御話シテ見タイト思ヒマス、我が國ノ矢張り燃料政策ノ點カラ起ル問題デアリマスルガ、燃料政策カラ此ノ燃料自給自足ト云フ點ニ付テ考ヘテ居ルノデアリマスルガ、之ニ對シマスル對策ト致シマシテ、國內資源ノ開發、人造石油ノ振興、海外資源ノ獲得、又代用燃料ノ利用ト云フヤウナ點ニ付テ考ヘテ居ル譯デアリマス、而シテ國內ノ石油資源ノ開發ハ、最近ニ於ケマシテ非常ニ助成モ致シテ居リマシテ、例ヘバ昨年度ニ於ケマシテハ、政府ガ助成致シテ居リマスル試掘ノ井戸數ハ、百五本デアリマス、ソレハ昨年度著手致シマシタ、即チ昨年度ト申シマス十四年度デゴザイマス、又十五年度ニ於ケマシテハ、百七十本ノ試掘井ヲ助成シテ參ル、而シテ此ノ石油ノ増産ニ對シテハ極力努力シテ居リマス、デ石油ノ試掘ニ關シマシテハ、從來矢張り是ハ正確ノ數字ハアリマセスケレドモ、常識的ニ色々御話ニナル間ニ六十本ニ對シテ一本當ルノダ、ソナモノダト云フヤウナ御話モアリマスルガ、是ハデス、矢張り地質ノ調査ト云フコトガ基礎ニナリマスノデ、從來地質ノ調査ヲ致シテ參リマシタ其ノ上ニ、尙地質ノ精査、即チ物理探礦ヲ應用致シマシテ、其ノ石油ノ賦存狀態ヲ正確ニ擧ツテ

行カウ、即チ事業ヲシテモ其ノ結果ガ的確ニ有效ニ擧ツテ行クト云フ風ニ地質ノ調査ヲ進メテ居リマスル關係上、最近ニ於ケマシテハ、從來ノ三分ノ一、或ハ三分ノ一以上ノ數量ニ減ジテ居リマス、即チ此ノ油田ヲ當テテ居リマスル率ガ大變良クナツテ參リマシタ、デ斯ウ云フヤウナ狀況デ、國內ノ資源ヲ開發シテ居リマシテ、國ノ需要ニ應ズルヤウニシテ居リマスルガ、勿論只今ノ所デハ、國ノ全體ノ需要ニ對シテハ一部分ヲ充タスニ過ギナイ狀況デアリマス、併シ又一方人造石油ノ振興計畫ハ著々進ンデ居リマシテ、十四年度ニ人造石油ノ會社ヲ起シマシテ、之ニ對シテ許可ヲ認メマシタモノモ字部ノ油工業、尼ヶ崎ノ人造石油或ハ朝鮮窒素工業、或ハ樺太人造石油ト云フ風ニ、昨年度ニ於ケマシテモサウ云フヤウナ會社ガ起リマシテ、著々事業ヲ進メテ居リマス、從ツテ此ノ事業ガ振興致シマスト共ニ人造石油モ出テ參ルノデアリマスガ、併シ是ハ建設ニ相當期間モ要シマスルノデ、ソレダケノ間ハ致シ方ナイト云フ期間ヲ持ツテ居リマス、尙海外ノ資源ニ付キマシテハ、御承知ノ通り北樺太石油ノ資源モ持ツテ居リマス、又「ボルネオ」ニ於ケモ事業ヲシテ居リマス、尙其ノ他海外ノ資源ヲ獲得シ、日本ノ手ニ於テ作業ガ出來ルヤウニ、色々研究モ調査モ進メテ居リマス、斯ウ云フヤウナ狀況デアリマシテ、當局ト致シマシテハ、出來ルダケ早キ時期ニ此ノ重要ナル石油ニ付キマシテハ自給自足ノ途ニ持ツテ行キタイト云フ風ニ努力シテ居リ次第デアリマス
○秋田三三君 只今ノ内地ニ於ケル油田ノ開發ニ對シテハドウ云フ御方法ヲ講ゼラレテ居リマスルカ、開發竝ニ増産ニ對スル方

策トシマシテ講ゼラレテ居ル方法ニ付テ御説明ヲ願ヒタイと思ヒマス。

○政府委員(柳原博光君) 内地ノ試掘ニ付キマシテ、從來ノ方法ハ御承知ト思ヒマスガ、尙斯ウ云フ手段モ講ジテ居リマス、又將來サウ云フ方面ニ付テ益、ヤッテ行キタイト思フテ居リマスガ、坑道掘リデアリマス、石油ノ油田ニ付キマシテハ御承知ノ通り唧筒デ以テ油ヲ出スト云フノガ常道デゴザイマスガ、併シ數年唧筒デ油ヲ汲ミ出シマスト云フト、地下ニアリマスル石油ノ全量ヲ汲ミ出スト云フコトハ技術的ニ不可能デアリマス、能ク二割ハ出シテ八割ハ殘ルト云フヤウナ意見モアリマスシ、又五割ハ出シテ五割殘ルト云フヤウナ意見モアリマス、是ハ地下ノコトデアリマスカラ、的確ニ二割ダ、五割ダト云フコトヲ正シク申上ゲルコトハ出來マセスガ、併シ五割ニシテモ尙五割ハ殘ルノデアリマス、併シ一方八割ハ殘ルト云フ說モアリマス、從ツテ此ノ唧筒ニ依ッテ石油ヲ出シマシテ、モウ唧筒ニ依ッテ出スト云フ其ノ事ガ餘リ有效デナイト云フ油田ニ對シマシテハ、地下ニ於ケル石油ヲ坑道ヲ掘ッテ、其ノ油砂ヲ出シテ行ク、油ノ含シデ居ル泥ヲ出シテ來テ……油砂ヲ出シテ、ソレヲ洗滌致シマスルナリ、或ハ乾溜致シマシテ石油ヲ採ルト、從ッテ地下ニ在ル石油層ノ石油ヲ大部分採ルト云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、昨年度十四年度ニ於テ地方的ニ調査致シマシタ秋田ノ東山油田ニ付キマシテ此ノ方法ガ適當デアルト認メマシテ、十五年度カラ本格的ニ其ノ企業ヲ始メル計畫ヲ進メテ居リマス、尙又或層ニ付テデゴザイマス、非常ニ弱層ト申シマシテ、崩レ易イ層ト云フヤウナ層ヲ突破致シ

マシテ、下ノ層ノ油ヲ出スト云フコトガ從來ノ方法デハナカ／＼行カナイ、從ッテ之ニ付キマシテモ政府モ研究シ、助成致シマシテ、所謂弱層掘リト云フコトニ成功致シマシテ、新津ノ油田ニ於キマシテハ弱層掘リニ成功致シマシテ、弱層ヲ突破シテ、下ノ油層カラモ油ヲ出スト云フコトニ成功シテ居リマス、先ヅ目新シイ方法ナリ、或ハ狀況ト致シマシテハ只今御話シシタヤウナ次第デアリマス。

○岡喜七郎君 チョット、只今秋田君ノ質問ニ御答ヘナリマシタ内デ、此ノ人造石油ニ付テモ政府ハ非常ニ御配慮ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、昨年或委員會デ政府ノ御説明ヲ拜聽致シマシタ時ニ、非常ニ段々成功ヲシテ、何レ相當ナ數量ガ現ハレルコトニナルデアラウト云フヤウナ御話ヲ聽イタノデアリマス、ソレカラ又何時頃デアリマシタカ、新聞紙ノ記事ニ依ルト、滿鐵ニ於テ豫テ研究ニナッテ居ルノガ非常ニ成功シテ、最早人造石油ニ付テハ懸念スル處ハナイト云フヤウナ、誠ニ喜バシイ記事ヲ見マシテ、私共心強ク感ジテ居ッタノデアリマスガ、併シ事實今日ハ餘程進捗ヲ見タノデアリマセウカ、其ノ當時……昨年ノ今頃デアリマシタカ、其ノ當時カラ比較シマシテ相當ナ量ガ採リ得ラレルヤウニ進ンデ參ッタノデアリマス、其ノ邊ヲモウ一度拜聽致シテ見タイノデアリマス、ソレカラ今一ツ是ハ此處デ御尋ネスル限りデナイカモ知レマセスガ、只今北樺太ニモ石油ノ利權ヲ持ッテ居ルト云フコトデアリマシタガ、私等モ承知致シテ居リマス、是モ當時ノ外務大臣、今日ノ有田君デアッタ記憶致シテ居リマスガ、非常ニ妨害ヲ受ケテ居ルケレドモ、出

來ルダケノ努力ヲ拂ッテ、早晚作業ニ差支ハナイヤウニスルト云フヤウナ極メテ御熱心ナル御説明ガアリマシタガ、其ノ後新聞紙等デ見マスルト、一向ソナ妨害ハ取レテ居ラスノミナラズ、何等ノ進捗ヲ致シテ居ナイ、昨日カ衆議院ノ豫算總會デ漁業問題モ本格的ノナニヲスル、北樺太ノ石油ニ付テモ十分ナ努力ヲスルト云フ、矢張り同ジヤウナ御説明ニナツテ居ルヤウデアリマス、是ハ貴方ニ申上ゲルノデヤナイガ、ドウモ僅カ一年ノ間デアリマスガ、政府ノ御説明ニナツテ居ルコトハ諒解致シ兼ネルヤウニ考ヘルノデアリマスガ、只今ノ人造石油ニ付キマシテハ、昨年ノ今頃カラ見マスト、餘程ナ進捗ヲシテ居ルモノデアリマセウカ、數字デ示スト云フ譯ニモ行キマスマイガ、大要ノ處ヲ承リタイト考ヘマス。

○政府委員(柳原博光君) 只今ノ御質問ノ人造石油ノ進行狀況デゴザイマスガ、先程秋田サンニ申上ゲマシタ通りニ、人造石油ノ會社ハ十四年度ニ於キマシテモ企業ニ著手シテ居リマス、從ッテ此ノ建設ニ要シマスル期間ト云フモノハ、大キナ建設ニナリマスト云フト、矢張り二年乃至三年掛リマス、低溫乾溜ノ如キモノデゴザイマスレバソレ程ノ期間ヲ要シマセスケレドモ、直接液化、或ハ合成液化ニ依リマスト云フト、相當ノ期間ガ掛リマス、從ッテ帝國燃料興業株式會社ガ出來マシテ、今日二年餘ノ時日ヲ過ギテ居ル譯デアリマスガ、建設致シマシタ工事ニ對シマシテハ、其ノ期間サハ經タナラバ、人造石油ガ出テ參ルト思ヒマス、併シ數量ハ申シ兼ネマスルガ、現在デモ人造石油ハモウ出テ居リマス、滿鐵ノ人造石油ニ付テノ御質疑デアリマスガ、是モモウ

技術的ニ成功致シマシテ、新聞紙等デ御覽ニナリマス通りニ、事實成功シテ居リマス、尙ソレ等ニ付テ改善スベキ點ハ改善シテ、出來ルダケ良質ナ良イ油ヲ造ッテ行クト云フコトニ付テ、今研究モ一方ニ於テ又進メテ居リマス、從ッテ今ノ御質問ニ對シマシテ……人造石油ハ出テ居ルカドウカト云フ御質問ニ對シテハ、只今ノ處デハ順調ニ進ンデ居リマス、併シ全般的ニ申シマスト云フト、矢張り機材ノ問題トカ色々アリマスノデ、今後ノ問題ニ付テハ相當努力モシテ行カネバナラスト考ヘテ居リマス。

○岡喜七郎君 人造石油ガ出テ居ルト云フコトハ無論事實デアリマセウト考ヘルノデアリマスガ、唯幾ラ完全ニ出來マシテモ、相當ナ數量ガド／＼出ルヤウニナリマセネバ、唯研究ニ止マルヤウナコトニ相成リハセスカ、私共素人デ一向存ジマセスガ、例ヘバ只今御話ノ低溫乾溜ナドト云フノハ餘程以前カラ我が國ノ方々デ試驗サレテ居ル、又確カ山本条太郎君ガ滿鐵ノ總裁ヲサレテ居ル時分デスカ、確カ「ドイツ」カラ機械ナドヲ入レマシテ、矢張り此ノ人造石油ニ非常ニ御努力ニナツタ、併シ是ハ十分ナ成績ガ擧ラナカ／＼ヤニ聞イテ居リマスガ、兎ニ角低溫乾溜ノ如キハ隨分長イ間方々デ試驗サレテ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマスルガ、最早研究ノ時代ハ過ギテ、何ト申シマスガ、實用的ニ多額ノ數量ガ出ルト云フ時機ニ到達シテ宜イモノデヤナイカト素人ハ考ヘルノデアリマス、成ル程研究ガ出來タノヲ、尙改良、改善、色々ナ出來ルダケノ良イ方法ハ御努力ニナッテ居リマセウケレドモ、所謂燃料ノ心配ガ幾ラカ薄ラグト云フ位ノ程度ノ生産ガ出來ナケレ

バ、實ハ餘リ安心が出来ヌノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマシテ、其ノ邊ノ御見込ハドウデアリマスカ

○政府委員(柳原博光君) 低溫乾溜ニ付キマシテハモウ研究時代ノ域ヲ脱シマシテ企業時代デゴザイマス、樺太ノ内幌ノ三菱ダヤツテ居リマス低溫乾溜、或ハ鶴見ノ東邦瓦斯トカ、名古屋ニ於テモ致シテ居リマス、又宇部ニ於テモ低溫乾溜ヲ致シテ居リマス、朝鮮ニ於テモ低溫乾溜ヲシテ居リマス、是ハ今ノ御心配ノヤウナ點ハ毛頭ゴザイマセヌデ、研究時代ノ域ヲ脱シテ企業時代デ、今著々企業モシ、又製品モ出シテ居リマス

○小坂梅吉君 ソレニ關聯シテ極メテ簡單ニ一ツ……燃料國策カラ言フテ石油問題ガ重大ナル關係ガアリマスガ、今岡サンノ言ハレタ通り低溫乾溜ナドハ既ニ長イ經驗デ、樺太其ノ他デヤツテ居リマス、經濟的カラ申シマシテ、今日デハ採算ガ取レルカ取レナイカ、所謂自給自足デ此ノ仕事ガ成功シ、益、將來發展シ得ルカ否ヤ、此ノ點ニ付テ伺ツテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(柳原博光君) 此ノ人造石油ノ企業ノ經濟的ト申シマスルノハ、大部分油ノ市價ニ依リ譯デアリマスガ、低溫乾溜ノ點ニ付テノミ申上ゲマス云フト、後ニ出テ參リマスル半成「コークス」、即チ「コーライト」ハ又利用ノ途モゴザイマス、其ノ外、外ノ化學藥品ニモ利用ノ途ガゴザイマスガ、油ニ付キマシテハ政府ハ只今助成シテ居ル狀況デゴザイマス、併シ人造石油ガ段々出來マスシ、又各方面ニ付テノ利用價值ガ増シテ參リマス云フト、營業的ニ自立シ得ルヤウニ持テ行ク考ヘデゴザイマス

○小坂梅吉君 樺太ナドハ三菱ガ長イ經驗

デヤツテ居リマスガ、現在樺太ノ三菱ノ低溫乾溜ハ相當利潤ヲ擧ゲテ居ルノデスカ、實際ハ採算ガ取レナイノデスカ、政府ハ之ニ對シテ援助シテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テ伺ツテ置キタイ

○政府委員(柳原博光君) 今ハ樺太ノ人造石油ノ出テ居リマス油ニ對シテハ助成シテ居リマス

○小坂梅吉君 採算ガ採レテ居ルンデセウカ、居ラナイデセウカ、ソレハ將來石油事業ヲ計畫スル人ニ取ツテ非常ナル影響ガアルと思ヒマス、採算ガ採レルナラ進ンデ事業ヲ起シタイト云フ氣分ト、取レナイ仕事ヲヤラウト云フ人ハ無インデアリマスカラシテ、ソコニ非常ニ將來石油事業ノ發展ニ付テ、影響ガアリヤシナイカト思ヒマシテ、内容ヲ伺ツタンデアリマス

○政府委員(柳原博光君) 内幌デヤツテ居リマス三菱礦業ノ内容ニ付テハ申上ゲ兼ネマスルガ、併シ今低溫乾溜ヲ起サウト云フ企業家ハ相當ゴザイマス、デ先程申上ゲマシタ通りニ、矢張り宇都トカ、或ハ鶴見、名古屋、朝鮮デモ低溫乾溜ヲ起シテ居リマシテ、只今デハ低溫乾溜ヲ起シテ行クト云フ、企業家ハ相當ゴザイマスカラ、事業家トシテハ矢張り著手シテ宜イ事業デヤナйкаト思ヒテ居リマス

○小坂梅吉君 其ノ點ガ大分資本家カラ云フトドウモ國家的ノ事業デヤリタイケレドモ、ナカノ今日ノ低溫乾溜モ經濟的ニ結果ガ惡イヤウニ言傳ヘラレテ居ルコトハ、私ハ遺憾ト思ヒマスガ、其ノ點ヲ私ハ伺ツタシテゴザイマスガ、ソレハ貴方ノ御答辯デ諒解致シマシタガ、滿鐵デ鑽石カラ人造石油ヲ非常ニ大規模ニヤツテ居リマスナ、アレ

ナドマア半官半民ノ會社デアリマスカラ、政府ガ非常ニ監督シテ居ル譯デアリマスガ、アレ等ノ人造石油ノ採算ノ結果ハドウ云フコトニナルンデセウカ

○政府委員(柳原博光君) 鑽石カラ取ツテ居リマス云フノハ「シェール・オイル」ノ點デゴザイマセウナ

○小坂梅吉君 サウデゴザイマス

○政府委員(柳原博光君) 「シェール・オイル」ノ事業ハ滿鐵トシテ採算ガ取レテ居ルト考ヘテ居リマス

○小坂梅吉君 私人質問ハ是デ終リマス

○松本勝太郎君 私人部長サンガ只今御出デニナツテ居リマス機會ニ、極ク簡單デゴザイマスカラ一ツ御尋ネ致シタイと思ヒマス、近來「ガソリン」統制ニ依リマシテ品物ガ非常ニ不自由致シテ居リマス關係モアリマスガ、代用品ガチヨイチヨイ發明サレテ居ルト云フヤウナコトヲ聞キマスノデ、代用品ノ發明ト云ヘバ大變宜イヤウデアリマスガ、マア謂ハバ間ニ合セト云ヒマスルカ、餘リ經濟的ノモノデナクシテ原料ハ主トシテ「アルコール」ト云ツタヤウナモノデアリマシテ、從ツテ價ナドハ非常ニ高ク付クト云フヤウナコトニナルノデアリマスルガ、サウ云フコトニ付テノ御取扱ハドウ云フ御方針デゴザイマスルカ、現在多少其ノ方面ハ嚴ニ行ハレツ、アルト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデゴザイマスガ、販賣ナドモサウ云フコトニ付テ御取締リニナリ、且ツ「ガソリン」ノ價格ハ統制サレテ居リマシテモ發明獎勵ト言ヒマスルカ、其ノ意味ニ於キマシテ價格ハ高クテモ御許シニナツテ居ルヤウナコトハアリマスルカ、其ノ點ニ付テ伺ツテ見タイト思ヒマス

○政府委員(柳原博光君) 今ハ「ガソリン」ノ代用品ノ液體燃料ニ使ツテ居リマスモノハ「アルコール」ダケデゴザイマス、
「アルコール」ハ御承知ノ通り專賣デゴザイマシテ、政府ガヤツテ居ル譯デゴザイマス、併シ此ノ揮發油モ自動車用ノ代用燃料ト致シマシテハ、御承知ノ通り木炭、薪、カーバイト、瓦斯、或ハ「コーライト」ト云フ風ニ、代用燃料トシテ使ツテ居ル譯デアリマス、併シ此ノ天然瓦斯ヲ利用致シマスルノハ、矢張り「ボンベ」ニ詰メテ自動車ニ配給スルノデアリマスルガ、之ニ對シマシテハ設備等ヲシナケレバナラナイ關係上、木炭瓦斯發生爐ト同様ニ取附費モ入リマスシ、又其ノ自體ノ費用モ入ル譯デアリマス、是モ同様政府補助金ヲ支出シ得ル問題デアリマスルガ、併シ天然瓦斯ノ需給關係ナリ、或ハ都市ニ於キマスル運搬ノ方法トカ、或ハ數量關係カラ多量ニ使ツテ行クト云フ譯ニ參リマセヌ、併シ目下千葉ノ大多喜ノ天然瓦斯ガ東京ニ參ツテ居リマシテ、天然瓦斯ヲ供給シ得ルヤウニハナツテ居リマス、木炭及ビ薪炭ノ代用燃料ニ付キマシテハ、モウ既ニ御承知ノ通りダト思ヒテ居リマス、是ハ既ニ矢張り獎勵モ補助モ致シテ居リマス、
「カーバイト」ヲ元ニシテヤリマスル「アセチレン」瓦斯ハ、是モ「カーバイト」ノ原料カ、工業用ニ大部分使フモノガ多イノデゴザイマスカラ、代用燃料トシテ自動車ノ方ニ向ケテ參ル餘力ガ十分デハゴザイマセヌ、石炭ノ原ニ致シマシタ「コーライト」ハ矢張り發生爐ニ使ヒマスノデ、政府モ此ノ發生爐ヲ取附ケタモノニハ助成金ヲ交付スルト云フ三ツノ形式ガゴザイマス、是ハ將來「コーライト」ノ利用ニ付キマシテハ、相當矢

張リ考ヘテ行クベキ問題ダト考ヘテ居リマス

○松本勝太郎君 尙ホ簡單ニモウ一ツ御尋

ネシテ見タイト思ヒマスルガ、私ノ只今御

尋ネ致シマシタノハ、少シ言葉ガ足りナカッ

タカモ知レマセヌガ、現ニ「ガソリン」「アル

コール」ヲ原料トシテ、ソレニ多少ノ藥品

ヲ加ヘレバ「ガソリン」代用品ガ出來テ、自

動車ノ運轉ヲスルコトモ出來ルト、斯ウ云

フノデソレハ僅カノモノニシマシテモ、確

カニ利用サレテ居ル管ナシデゴザイマス、

是等ノ如キハ商品トシテ販賣スルト云フコ

トニナリマスレバ、ドウシテモ「ガソリン」

ノ統制サレテ居ル價格ヨリモ、倍ト云フカ

三倍ト云フ、非常ニ高イモノニナルノデア

リマスルガ、ソレデモ「ガソリン」ノ配給ガ行

キ届カヌ、間ニ合ハヌト云フヤウナ時ニハ、

サウ云フ高イモノデモ買ウテデモ、自動車

ヲ走ラシテ居ルト云フヤウナ現狀デアリマ

スルガ故ニ、倍トカ三倍トカ云ヘバ、非常ニ

高イヤウデアリマスルケレドモ、其ノ物デ

モ買ッテ「ガソリン」代用トシテ自動車ヲ動

カシテ居ルト、斯ウ云フコトニナルノデア

リマスルガ、其ノ價格ナドニ付キマシテハ、

何等制裁ハ受ケテ居ナイモノデアリマスル

カ、政府トシテ御取扱ガ其ノ點ドウ云フ

ヤウチ御取扱ニナッテ居ルカ伺ツテ見タイ

ノデゴザイマス

○政府委員(柳原博光君) 今ノ御話ハ「ア

ルコール」トカ或ハ外ノ燃料、揮發油ニ何

カ混ゼマシテ、ソレガ有效ニ節約ニナルノ

ダト云フヤウナ方面デ市場デ賣ッテ居ル、

ソレハ非常ニ高イガ、ソレニ對シテハドウ

考ヘテ居ルカト云フヤウナ御質問ダラウト

思ヒマスルガ、今私ノ方ト致シテハ、サウ

云フ燃料ニ付キマシテ、マダ「アルコール」

或ハ揮發油ニ混ゼテ有效デアルト云フ風ニ

認メテ居ルモノハナイノデアリマス、併シ

自分ノ方デ是ハ有效ダト云フヤウナ點カ

ラ、市場ニ出シテ居ルノモノゴザイマス、併

シソレ等ノ助燃劑ト言ヒマスカ、マア燃料

ノ節約劑ト申シマスカ、皆矢張り燃料ヲ

原ニ致シマシテ、例ヘバ「アルコール」カラ

造リマス「エーテル」アルコールヲ混ゼル、

皆原ハ矢張り「アルコール」デアルトカ、燃

料ノ原ヲ少シ加工シテ出テ來ル譯デゴザイ

マス、從ッテ高イノダラウト思ヒマスルガ、

今私ノ方ト致シマシテハ、サウ云フ値段ニ付

テドウノト申上ゲル次第デモゴザイマセヌ

○松本勝太郎君 サウ致シマスル、只今

此ノ統制ノヤカマシイ際デアリマスルガ、

是等ノ如キヲ現ニ販賣シテ居ル、若クハソ

レヲ購入シテ居ルト云フヤウナモノヲ現實

ニ、話ヲ聞クバカリデヤナイ、見テモ居ル

ノデアリマスガ、ソレ等ノコトニ付キマシ

テハ、何カ之ノ取締法デアルトカ、或ハ「ガ

ソリン」ノ不足ヲ時デアリマスカラ大目ニ

見テ居ルト言フノデアリマスルカ、モウ少

シハツキリシタコトヲ承リタイノデアリマ

ス、ソレ等ノ如キモノハドウチラデ尋ネタラ

宜イモノデアリマスルカ

○政府委員(柳原博光君) 燃料局デヤッテ

居リマス、只今ノ御話ハ色々助燃劑ニ付テ

私共ノ方ニモ持ッテ參ッテ來テ居ルノモアリ

マス、又或ハ其ノモノガ二割節約ニナルト

カ、有效デアルトカ云フヤウナ申出モアリ

マスルガ、又使ッテ見マシテ、ソレ程ノ效果

ガナイモノハ本人ニ、是ハ餘リ效果ガナイ

ト云フヤウナ點モ申シテ居リマス、從ッテ

細カイ問題ニナリマスレバ、燃料局ノ方デ

ヤッテ居リマスルカラ、又詳シイコトハ申

上ゲルダラウト思ヒマス

○委員長(子爵保科正昭君) ソレデハモウ

外ニ御質問ガ續イデゴザイマセヌケレバ、

午前ハ是デ終ッテ置キマシテ、午後一時半カ

ラ再開致シマス、休憩致シマス

午後一時五十三分休憩

午後一時四十分開會

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ午前ニ

引續イテ開會致シマス

○松本勝太郎君 私ハ此ノ鑛業法中改正案

ニ付キマシテ、直接ノ關係デハアリマセヌ

ガ、同ジク鑛山ノ問題デアリマスガ故ニ、

成ルベク簡單ニ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、

政府ハ鑛物ノ増産ヲ圖ル爲、必要ナル場合

ハ國策會社ニ命ジソレガ爲生ズル所ノ損害

ハ政府ガ補償スルト云フコトニナッテ居ル

ト思フノデアリマス、此ノ補償案ナルモノ

ニ依リマシテ命令サレテ居リマスル鑛區ガ

アリマスレバ、其ノ件數、竝ニ鑛區ノ種類

ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、ソレヲ尙政

府ハ鑛物ノ増産ニ付テ國策會社ヲシテ爲サ

シムル以外ニ、政府ハ直接獎勵セラレテ居

ル所ノ狀態、即チ補助金デアルトカ、人材

ノ養成デアルトカ、色々ノコトニ努力サレ

テ居ルモノト思フノデアリマスルガ、現在

ノ狀態ニ付キマシテ、又將來ノ御方針等ニ

付キマシテモ、此ノ際同ッテ置キタイト思ヒ

マス、先ツ此ノ二ツニ付キマシテ御説明ヲ

承リタイト思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 政府ガ半官半民

ノ鑛山開發ノ爲ノ特殊會社ニ對シテ、損失

ガアツタ場合ニ補償スルト云フ制度ヲ設ケ

テ居リマスノハ、日本產金振興株式會社デ

アリマス、此ノ日本產金振興株式會社法ノ

第二十五條デアツタカト存ジマスガ、是ハ

「政府ハ日本產金株式會社ノ業務ニ關シ監

督上又ハ產金事業ノ振興上必要ナル命令ヲ

爲スコトヲ得、前項ノ規定ニ依リ產金事業

ノ振興上必要ナル命令ヲ爲シタルトキハ政

府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ニ因リテ生ジ

タル損失ヲ補償ス、前項ノ補償ヲ伴フヘ

キ命令ハ之ニ因リ要スヘキ補償金ノ總額

カ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ヲ超エサル

範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス」斯ウ云

フ風ニナッテ居リマシテ、產金事業ノ爲ニハ

政府ガ日本產金振興會社ニ對シテ命令ヲ出

シマス、其ノ命令ニ基イテ業務ヲ執行シ、

其ノ爲ニ生ジタ損害ニ對シマシテハ、政府

ガ補償スルコトニ相成ッテ居リマス、此ノ補

償ノ限度ハ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ

契約デ、日本產金振興株式會社ガ自ラ金ノ

製鍊ヲ營ンダ場合ト、探鑛獎勵金、探鑛資

金ニ政府ノ命令ニ依ッテ放出シタ資金ハ、其

ノ資金中損失ガ生ジマシタ場合ニ於キマシ

テハ、政府ガ之ヲ補償スルト云フコトニ相

成ッテ居ルノデゴザイマス、其ノ金額ノ範圍

ハ只今チヨット記憶ガゴザイマセヌガ、後程

調ベテ申上ゲマス、昭和十四年末迄ノ探鑛

資金トシテ貸出シタ口數ハ二十二件ト存ジ

マス、ソレカラ產金株式會社自ラ金ノ製鍊

ヲ營ム場所ハ北海道、東北及ビ九州ノ三ヶ

所ニ既ニ地ヲソレノトシテ、或ルモノハ

既ニ製鍊ニ取掛ッテ居リマス、或ルモノハ又

其ノ準備中デゴザイマス、鑛業開發ニ關シ

テ政府ガ特殊會社ノ損失ニ對シテ補償スル

ト云フノハ其ノ趣旨デゴザイマス、ソレカ

ラ其ノ外ニ鑛山ノ開發ノ爲ニ補助金ヲ相當

ニ出シテ居リマス、其ノ補助金ノ總額ハ金

ト其ノ他ノ鑛物ニ依ッテ一應分ケテ居リマ

スガ、金ノ方ニ付テ申上ゲマス、産金獎勵費トシテ補助金ノ部ニ計上シテ居リマス金額ガ昭和十五年度ニ於キマシテハ金ノ探鑛獎勵金、其ノ額ガ豫算トシテ三百萬圓デゴザイマス、ソレカラ同ジク昭和十五年度選鑛場、製鍊場ノ建設助成金、是ガ五百四十萬圓デゴザイマス、ソレカラ金山ノ現場係員養成施設助成金、是ガ昭和十五年度ハ二萬九百六十圓ト云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ銅、鉛、亜鉛、錫其ノ他ノ重要鑛物ノ探鑛獎勵金ハ昭和十五年度ニ於キマシテハ前年度ヨリ相當額エマシテ、百五十萬圓ニ相成ッテ居リマス、ソレカラ昭和十五年度ニ改メテ銅、鉛、亜鉛、錫サウ云フヤウナ重要鑛物ノ選鑛場、或ハ製鍊場ノ建設助成金、之ヲ新タニ百二十萬圓ヲ計上致シテ居リマス、其ノ外只今金ニ付テ申上ガマシタ現場係員ノ養成施設ニ關スル補助金、助成金ハ石炭ニ付テハ九州ト北海道ニソレノノ施設ヲ爲サシメ、之ニ補助金ヲ出シテ居リマス、尙金山ノ場合ニ付キマシテハ機械ヲ貸與スル制度トカ、其ノ他色々ナ制度ヲヤンデ居リマスルガ、大體大雜把ナ所ヲ申上ゲマス、サウ云フヤウナ施設ヲ致シテ居リマス

商工省ト致シマシテ其ノ人材ヲ速成スルト云フコトニ付キマシテ、我々非常ニ希望致シテ置イタノデアリマスルガ、サウ云フコトニ付キマシテハ如何ナル御方針ノ下ニ御進ミニナッテ居リマスルカ、其ノ點此ノ際確カメテ置キタイト思ヒマス

キマシテハ、私共ノ考ヲ其ノ方ニ入レテ考慮シテ貰フヤウニ相成ッテ居リマス

ハ希望スルノデアリマス、ソゴデ重ネテ私ハ御尋ネ致シマスルガ、ソレニ對シテ今日執ッテ居ル以上ノ何カノ手段ヲ講ジタイト云フ御心持ガアルガナイカト云フコトヲ此ノ場合確カメテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 鑛山關係ノ技術者乃至ハ係員ト云フヤウナ人、及其ノ熟練鑛夫ト云フヤウナ者ノ養成ニ付キマシテ、色々心配モシ、各方面ト連絡ヲ執ッテ居リマスガ、技術者ニナリマスルトハ學校制度ノ關係等ガゴザイマシテ、文部省ニ其ノ所管ガゴザイマス、ソコデ色々學科ノ配合トカ、其ノ他ニ付キマシテハ相談モ受ケ、又收容人員等ニ付キマシテモ極力コチラノ意思ヲ反映スルヤウニ努メテ居リマス、併シナガラ學校制度デアアル爲ニ、ナカノ急激ナル變化ヲ見ルコトハ出來マセス、下級技術者トカ、現場係員ノ養成ニ付キマシテモ、是ハ見様ニ依リマス程度ノ低イ工業學校ニ鑛山關係ノ學科ヲ殖ヤシテ、收容人員ヲ増ス、増加スルト云フヤウナコトヲヤンデ貰ッテ居リマス、ソレ等ノ數ハ私ハッキリ記憶致シテ居リマセヌガ、年々遞増致シテ居リマス、ソレカラ更ニ現場係員ノ養成デアリマスガ、是ハ昭和十二年度ノ豫算ヲ以テ開設開始致シタモノデアリマスルガ、此ノ方ハ著々一定ノ人數デアリマスルケレドモ、各半年毎ニ卒業業者ヲ出ストカ、一年毎ニ出スト云フヤウナコトデ養成ヲ致シテ居リマス、熟練鑛夫ト云フヤウナモノニ付キマシテハ各山ガソレノノ立場ガラ養成ヲ致スヨリ外、大體外ニ今ノ處方法ガナイト考ヘラレマス、別ニ國家總動員法ノ關係デサウ云フ施設ヲ命ズル場合等ニ於

○政府委員(小金義照君) 鑛山關係ノ技術者乃至ハ係員ト云フヤウナ人、及其ノ熟練鑛夫ト云フヤウナ者ノ養成ニ付キマシテ、色々心配モシ、各方面ト連絡ヲ執ッテ居リマスガ、技術者ニナリマスルトハ學校制度ノ關係等ガゴザイマシテ、文部省ニ其ノ所管ガゴザイマス、ソコデ色々學科ノ配合トカ、其ノ他ニ付キマシテハ相談モ受ケ、又收容人員等ニ付キマシテモ極力コチラノ意思ヲ反映スルヤウニ努メテ居リマス、併シナガラ學校制度デアアル爲ニ、ナカノ急激ナル變化ヲ見ルコトハ出來マセス、下級技術者トカ、現場係員ノ養成ニ付キマシテモ、是ハ見様ニ依リマス程度ノ低イ工業學校ニ鑛山關係ノ學科ヲ殖ヤシテ、收容人員ヲ増ス、増加スルト云フヤウナコトヲヤンデ貰ッテ居リマス、ソレ等ノ數ハ私ハッキリ記憶致シテ居リマセヌガ、年々遞増致シテ居リマス、ソレカラ更ニ現場係員ノ養成デアリマスガ、是ハ昭和十二年度ノ豫算ヲ以テ開設開始致シタモノデアリマスルガ、此ノ方ハ著々一定ノ人數デアリマスルケレドモ、各半年毎ニ卒業業者ヲ出ストカ、一年毎ニ出スト云フヤウナコトデ養成ヲ致シテ居リマス、熟練鑛夫ト云フヤウナモノニ付キマシテハ各山ガソレノノ立場ガラ養成ヲ致スヨリ外、大體外ニ今ノ處方法ガナイト考ヘラレマス、別ニ國家總動員法ノ關係デサウ云フ施設ヲ命ズル場合等ニ於

キマシテハ、私共ノ考ヲ其ノ方ニ入レテ考慮シテ貰フヤウニ相成ッテ居リマス

ハ希望スルノデアリマス、ソゴデ重ネテ私ハ御尋ネ致シマスルガ、ソレニ對シテ今日執ッテ居ル以上ノ何カノ手段ヲ講ジタイト云フ御心持ガアルガナイカト云フコトヲ此ノ場合確カメテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 技術者ノ養成ハ非常ニムヅカシイノデアリマシテ、例ハバ現場係員程度ノ知識ヲ授ケルノニ付キマシテハ大シタ問題デアナイト存ジマスガ、之ヲ我が國ノ鑛山技術者ナリトシテ社會モ遇シ、總テノ取扱ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテハ相當ナ基礎的知識等ヲ持タナイト山ニ付テ誤ッタル判斷トカ、其ノ他弊害ノ生ズルヤウナ行動ヲ執ラレマス、鑛山開發上由々シイ問題等ヲ惹起スル虞ガゴザイマス、サウ云フヤウナ點カラ隨分マダルッコイト云フヤウナ感ジハ是ハ已ムヲ得ナイト存ジマスガ、矢張り基礎的ナ學校制度ニ依ッテ養成スルノガ本筋デアラウト存ジマス、此ノ點ニ付テハ十分御意見ノ次第モ承リマシテ、更ニ是等ノ技術者ノ養成ニ注意シタイト考ヘマス、尙山ニ經驗ガアルト云フ程度ノ下級技術者、或ハ現場係員ト云フヤウナ人等ノ養成ニ付キマシテハ、是亦十分積極的ニ施設ヲ致シタイト存ジマスガ、何分ニモ色々ナ關係ガゴザイマシテ、我々ノ思フ通りニ急激ニ行カナイト云フ點ヲ御諒承ヲ願ヒマス、唯ソレダカラ我が國ノ鑛山開發上漫然トシテ居ッテ宜シイト云フコトハ有リ得ナイノデアリマス、其ノ間ノ實情ニ即シデ色々工夫ヲ致シタイト存ジマス

○政府委員(小金義照君) 技術者ノ養成ハ非常ニムヅカシイノデアリマシテ、例ハバ現場係員程度ノ知識ヲ授ケルノニ付キマシテハ大シタ問題デアナイト存ジマスガ、之ヲ我が國ノ鑛山技術者ナリトシテ社會モ遇シ、總テノ取扱ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテハ相當ナ基礎的知識等ヲ持タナイト山ニ付テ誤ッタル判斷トカ、其ノ他弊害ノ生ズルヤウナ行動ヲ執ラレマス、鑛山開發上由々シイ問題等ヲ惹起スル虞ガゴザイマス、サウ云フヤウナ點カラ隨分マダルッコイト云フヤウナ感ジハ是ハ已ムヲ得ナイト存ジマスガ、矢張り基礎的ナ學校制度ニ依ッテ養成スルノガ本筋デアラウト存ジマス、此ノ點ニ付テハ十分御意見ノ次第モ承リマシテ、更ニ是等ノ技術者ノ養成ニ注意シタイト考ヘマス、尙山ニ經驗ガアルト云フ程度ノ下級技術者、或ハ現場係員ト云フヤウナ人等ノ養成ニ付キマシテハ、是亦十分積極的ニ施設ヲ致シタイト存ジマスガ、何分ニモ色々ナ關係ガゴザイマシテ、我々ノ思フ通りニ急激ニ行カナイト云フ點ヲ御諒承ヲ願ヒマス、唯ソレダカラ我が國ノ鑛山開發上漫然トシテ居ッテ宜シイト云フコトハ有リ得ナイノデアリマス、其ノ間ノ實情ニ即シデ色々工夫ヲ致シタイト存ジマス

○政府委員(小金義照君) 技術者ノ養成ハ非常ニムヅカシイノデアリマシテ、例ハバ現場係員程度ノ知識ヲ授ケルノニ付キマシテハ大シタ問題デアナイト存ジマスガ、之ヲ我が國ノ鑛山技術者ナリトシテ社會モ遇シ、總テノ取扱ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテハ相當ナ基礎的知識等ヲ持タナイト山ニ付テ誤ッタル判斷トカ、其ノ他弊害ノ生ズルヤウナ行動ヲ執ラレマス、鑛山開發上由々シイ問題等ヲ惹起スル虞ガゴザイマス、サウ云フヤウナ點カラ隨分マダルッコイト云フヤウナ感ジハ是ハ已ムヲ得ナイト存ジマスガ、矢張り基礎的ナ學校制度ニ依ッテ養成スルノガ本筋デアラウト存ジマス、此ノ點ニ付テハ十分御意見ノ次第モ承リマシテ、更ニ是等ノ技術者ノ養成ニ注意シタイト考ヘマス、尙山ニ經驗ガアルト云フ程度ノ下級技術者、或ハ現場係員ト云フヤウナ人等ノ養成ニ付キマシテハ、是亦十分積極的ニ施設ヲ致シタイト存ジマスガ、何分ニモ色々ナ關係ガゴザイマシテ、我々ノ思フ通りニ急激ニ行カナイト云フ點ヲ御諒承ヲ願ヒマス、唯ソレダカラ我が國ノ鑛山開發上漫然トシテ居ッテ宜シイト云フコトハ有リ得ナイノデアリマス、其ノ間ノ實情ニ即シデ色々工夫ヲ致シタイト存ジマス

○政府委員(小金義照君) 技術者ノ養成ハ非常ニムヅカシイノデアリマシテ、例ハバ現場係員程度ノ知識ヲ授ケルノニ付キマシテハ大シタ問題デアナイト存ジマスガ、之ヲ我が國ノ鑛山技術者ナリトシテ社會モ遇シ、總テノ取扱ヲ受ケルト云フ場合ニ於キマシテハ相當ナ基礎的知識等ヲ持タナイト山ニ付テ誤ッタル判斷トカ、其ノ他弊害ノ生ズルヤウナ行動ヲ執ラレマス、鑛山開發上由々シイ問題等ヲ惹起スル虞ガゴザイマス、サウ云フヤウナ點カラ隨分マダルッコイト云フヤウナ感ジハ是ハ已ムヲ得ナイト存ジマスガ、矢張り基礎的ナ學校制度ニ依ッテ養成スルノガ本筋デアラウト存ジマス、此ノ點ニ付テハ十分御意見ノ次第モ承リマシテ、更ニ是等ノ技術者ノ養成ニ注意シタイト考ヘマス、尙山ニ經驗ガアルト云フ程度ノ下級技術者、或ハ現場係員ト云フヤウナ人等ノ養成ニ付キマシテハ、是亦十分積極的ニ施設ヲ致シタイト存ジマスガ、何分ニモ色々ナ關係ガゴザイマシテ、我々ノ思フ通りニ急激ニ行カナイト云フ點ヲ御諒承ヲ願ヒマス、唯ソレダカラ我が國ノ鑛山開發上漫然トシテ居ッテ宜シイト云フコトハ有リ得ナイノデアリマス、其ノ間ノ實情ニ即シデ色々工夫ヲ致シタイト存ジマス

○松本勝太郎君 此ノ鑛山開發ニ付キマシテハ、今日デハ勞働者ハ相當不足ヲシテ居ルヤウナ狀態ニアルノデアリマスルガ、尙其ノ上ニ技師トカ、技手トカ云フ、或ハ技師、技手ト云ハナイ迄モ經營上ニ從事スル人材ト言ッテヤウナモノニ非常ニ不足ヲシテ居リマス、此ノ人材養成ト云フコトニ付キマシテハ昨年春ノ議會ニ於キマシテモ、局長サント大分此ノ點ニ付テ應答シタコトモアルノデゴザイマス、其ノ後ニ於キマシテ特ニ

○松本勝太郎君 此ノ鑛山開發ニ付キマシテハ、今日デハ勞働者ハ相當不足ヲシテ居ルヤウナ狀態ニアルノデアリマスルガ、尙其ノ上ニ技師トカ、技手トカ云フ、或ハ技師、技手ト云ハナイ迄モ經營上ニ從事スル人材ト言ッテヤウナモノニ非常ニ不足ヲシテ居リマス、此ノ人材養成ト云フコトニ付キマシテハ昨年春ノ議會ニ於キマシテモ、局長サント大分此ノ點ニ付テ應答シタコトモアルノデゴザイマス、其ノ後ニ於キマシテ特ニ

○松本勝太郎君 此ノ鑛山開發ニ付キマシテハ、今日デハ勞働者ハ相當不足ヲシテ居ルヤウナ狀態ニアルノデアリマスルガ、尙其ノ上ニ技師トカ、技手トカ云フ、或ハ技師、技手ト云ハナイ迄モ經營上ニ從事スル人材ト言ッテヤウナモノニ非常ニ不足ヲシテ居リマス、此ノ人材養成ト云フコトニ付キマシテハ昨年春ノ議會ニ於キマシテモ、局長サント大分此ノ點ニ付テ應答シタコトモアルノデゴザイマス、其ノ後ニ於キマシテ特ニ

○松本勝太郎君 此ノ鑛山開發ニ付キマシテハ、今日デハ勞働者ハ相當不足ヲシテ居ルヤウナ狀態ニアルノデアリマスルガ、尙其ノ上ニ技師トカ、技手トカ云フ、或ハ技師、技手ト云ハナイ迄モ經營上ニ從事スル人材ト言ッテヤウナモノニ非常ニ不足ヲシテ居リマス、此ノ人材養成ト云フコトニ付キマシテハ昨年春ノ議會ニ於キマシテモ、局長サント大分此ノ點ニ付テ應答シタコトモアルノデゴザイマス、其ノ後ニ於キマシテ特ニ

ス、然ルニ最近聞ク所ニ依リマスレバ、此ノ日本産金振興株式會社ノ成立當時、所謂此ノ法案ヲ御設ケニナリマシタ當時ヲ顧ミテ考ヘマスルノニ、此ノ會社ガ出來マシタナラバ産金ノ獎勵モ積極的ニ行ハレルモノデアル、例ヘバ睡眠狀態ニアル所ノ鑛區ノ如キ、眠リヲ醒マスト云フ上ニ於テモ非常ニ效果ナシモノデアルト云フタヤウニ非常ニ期待ヲ持タレテ居ッタノデアリマス、然ルニ成立後日尙淺シト雖モ、此ノ時局重大ノ際、一忽ノ金デモ多ク出サナケレバナラヌト云フ際ニ於キマシテ、非常手段ヲ執ッテデモ積極的ニ進マナゲテハナラナイ際ニモ拘ラズ、期待ニ反シテ其ノ業績ガ至ッテ舉ッテ居ナイ、只今迄オヤリニナッテ居ル所ノ内容ニ付テモ、甚ダ面白クナイヤウナ噂モ聞クノデアリマス、私ハ此ノ噂ヲ信ジタクナイノデアリマスルケレドモ、我々期待ヲ致シテ居リマシタ所カラ、色々ノ點カラ想像モ多イノデアリマス、是ハ内容ヲ知ラナイカラ想像シテ居ッタ譯デアリマスガ、其ノ噂ヲ信ジタクナイノデアリマス、茲ニ於キマシテドウカ忌憚ノナイ所、僞ラナイ所ヲ、眞ノ狀態ヲ一ツ此所デ御説明ヲ受ケタイト思フノデアリマス、尙帝國鑛業開發會社ノ業態ニ付キマシテモ、併セテ御尋ネ申シマス

○政府委員(小金義照君) 先程御尋ガゴザイマシタ政府補償ノ金額ヲ申上ゲマス、日本産金振興株式會社ニ對シテ特別融資、即チ政府ガ探鑛ノ爲ニ融通シロト云フ命令ヲ出シタ爲ニ、被ッタ損害ニ對シテ補償スベキ金額ガ一千百萬圓デアリマス、ソレカラ日本産金振興會社自ラ製鍊場ヲ設置シテ、其ノ爲ニ低品位ノ鑛物ヲ處理スルトカ、色々

ナ關係カラ損失ヲ免レナイ點ガゴザイマスノデ、ソレヲ補償スル爲ノ金額ガ二百五十萬圓ト云フコトニ相成ッテ居リマシテ、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ於テハ政府ハ三千三百五十萬圓ノ損失補償ヲ爲スト云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ只今衆議院ニ提出ニ相成ッテ居リマス、昭和十五年度追加豫算ノ一聯ノ關係ニ於キマシテ、日本産金振興株式會社損失補償トシテ、改メテ五百萬圓ノ限度ニ於テ損失ヲ政府ガ補償スル、斯ウ云フ風ニ相成ッテ居リマス、數字ヲ此所デ申上ゲテ置キマス、ソレデ只今日本産金振興株式會社ノ業態ニ付テ御尋ネガゴザイマシタガ、是ハ最近終リマシタ事業年度、即チ六箇月ノ間ニ於キマシテ、色々ナ事業ヲヤッテ居リマスガ、融資額ヲ調べテ見マスト一億五十萬圓強ニナッテ居リマス、投資額ガ百五十二萬圓強、ソレカラ鑛山用ノ器具機械、及材料ノ取扱ヲ爲シタ其ノ高ガ七百九十五萬圓強ト云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ只今申上ゲマシタヤウニ金ノ製鍊事業ヲ自ラ行フ爲ニ、若手縣ニ若手製鍊所、鹿兒島縣ニ勝者鑛山附屬製鍊所、ソレカラ北海道ニ豐浦鑛山附屬製鍊所ト、此ノ三箇所ヲ設立シテ其ノ經營ニ當リマシマス、ソレカラ別ニ損ヲスルカモ知レヌガ、是非探鑛ヲサセタイト云フヤウナ山ニ對スル探鑛資金ノ融通額ガ先程申上ゲマシタ通り二十二口、其ノ金額ガ二十三萬圓ニナッテ居リマスガ、是ハ十二月末日迄デアリマシテ、一、二、三月ノ間ニ餘程此ノ方ハ澤山ナ數ニ上ッテ居ルト存ジマス、マダ集計ガ出來テ居リマセヌ、ソレカラ朝鮮金山開發株式會社ト云フヤウナモノヲ二百萬圓デ造ラシテ居リマス、ソレカラ又臺灣ノ

砂金採取ノ爲ニ此ノ日本産金振興株式會社は是亦相當額ノ、百萬圓カ幾ラカノ出資ヲ致シマシテ、其ノ方ノ金山ノ開發ニ當ル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居リマシマス、色々御非難モアルヤウデアリマス、例ヘバ問題ヲ受付ケテカラナカク處分スル迄期間ガ掛カルト云フコト、ソレカラ又思ッタイウナ金額ヲ希望通りニ貸付ケテ呉レナイ、技術者ノ調査ガ手間取ル儘ニ處理ガ遅レルトカ、色々御非難モアルヤウデアリマス、併シナガラ兎モ角四百數十口ニ互ッテ資金モ融通シテ居リマスシ、今日日本ノ産金量ガ計畫通り行カナイ色々ナ原因ノ一ツトシテ日本産金振興株式會社ノ事業ノヤリ方モ惡イノデハナイカト云フヤウナ御意見モアルヤウニ拜承致シテ居リマス、併シナガラ兎モ角モ斯ウ云フ金一本槍ノ特殊會社ガアリマス爲ニ、私共ハ此ノ程度ノ産額ノ増加ヲ見タモノダ尠ク共産額増加ノ一部ニ寄與シテ居ルト云フコトハ十分認メテ居ルノデアリマス、唯今後ノ色々ナ會社ノ内部ノ事情、或ハ其ノ營業振リ等ニ付キマシテハ、勿論改善ヲ要スル點ガアルト存ジマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、鋭意改革ヲ圖ッテ會社ノ設立目的ヲ達成スル爲ニハ、相當ナ覺悟ヲ以テ臨ム積リデ居リマス、尙帝國鑛業開發株式會社ノ事業ノ概要ヲ極ク簡單ニ申上ゲマス、此ノ會社ハ昨年ノ秋出來上リマシタ會社デ、マダ第一期ノ營業年度ヲ終了シテ居リマセヌガ、自ラ鑛山經營ノ事業ニ既ニ當ッテ居ルモノガ二三ニ留マラナイ、ソレカラ選鑛事業ニ著手スベク今適當ナ地ヲトシテ準備ヲ致シテ居リマス、之モ二三ニ留マラスノデアリマス、ソレカラ休眠鑛區ノ開發ニ付キマシテモ、是亦今

具體的ニ準備中デゴザイマス、ソレカラ尙地質鑛床ノ調査ニ付キマシテモ、既ニ數十縣ニ互ッテ調査ヲ實施致シテ居リマス、技術指導ト云フヤウナ方面カラモ、中小鑛山ニ付テ既ニ是亦數十縣ニ上ッテ居ルノデアリマス、其ノ外輸入鑛石ノ統制、ソレカラ「サンプル・ミル」試料採取場ノ經營ニ付キマシテモ今準備ヲ進メテ居リマス、其ノ外鑛業用ノ資材ノ賣買、或ハ仲介、ソレカラ鑛山用ノ資金ノ融通、ソレカラ鑛山開發ノ爲ノ投資、斯ウ云フヤウナ項目ニ互リマシテ、ソレノ相當ナ實績ヲ舉ゲテ居リマスガ、マダ一期モ經過シナイ爲ニ、具體的ナ締メ括リハ出來テ居リマセヌ、此ノ會社ノ運営ニ付キマシテモ、會社ノ採算ト云フヨリモ寧ろ國ガ今最も要求シテ居リマス所ノ鑛物ノ増産ニ重キヲ置クト云フ點ニ付キマシテハ、日本産金振興株式會社ノ基本的ナ經營上ノ精神ト全ク同ジデアリマシテ、此ノ兩會社ノ活動ニ相當期待ヲ掛ケテ居ルモノデゴザイマス

○松本勝太郎君 私ハ只今御話モ承リ、大體ハ承知スルコトガ出來マシタガ、尙進ンデ御尋シテ見タイト思ヒマスルケレドモ、一ツ是ハ此ノ場合留保致シテ置キマシテ、次ノ機會ニ申上ゲルコトニ致シマシテ、モウ一言一ツ御尋ネ申シタイト思ヒマス、只今御説明ヲ承ッテ居リマシテモ、産金振興株式會社ガ製鍊場ヲ設ケテ居ル、所謂製鍊場ヲ設ケル所ノ投資ト云フコトニナリマスルカ、或ハ資金ノ融通ト云フコトニナリマスルカ、何レニシマシテモ、産金會社ガ關係シテ居ル製鍊場ハ三箇所設ケテアル、或ハ設ケツツアルト云フコトヲ承ルノデアリマス、先程此處ニ配付ヲ受ケマシタ參考書類

ト云フモノニモ見エルノデアリマス、一體
産金ヲ獎勵シ、所謂此ノ時局ニ際合シテ金
ヲ増産シヨウトスル非常手段ヲ執ラナケレ
バナラス際ニ臨ンデ製鍊場ヲ三箇所デア
トカ、五箇所デアルトカ云フ程度ノモノデ、
事足レリト當局ハ御考ニナッテ居ルカドウ
アルカ、我々考ヘマスルノニ金ニ限ラズ、
其ノ他重要礦物ニ致シマシテモ、増産ヲ圖
ラムトスルニハ先ヅ製鍊場が必要ナコトデ
アリマス、此ノ製鍊場ヲ此ノ際設ケルト云
フコトハ政府ノ力、國ノ力ニ依ラズンバ理
想的程度ノモノハ出来ナイノデアリマス、
此ノコトハ既ニ御當局モ御承知ノ筈デア
マス、然ルニ僅カニ三箇所、之ニ投資サレ
タ額モ僅カナ額ヲ投資サレテ居ルヤウデア
リマスガ、産金振興株式會社ナルモノヲ
設ケラレテ、ソレニ依ッテ産金ノ積極的ニ獎
勵シ、金ヲ出シテ行カウト云フ其ノ目的ハ
至ッテ大キナ筈ナノデアリマス、乾式ノ製鍊
場バカリデナク、濕式ノ製鍊場、所謂油選
斯ウ云フ工場ナドハ到ル處ニ造ツタナラバ
鑛石ハ山ノ如ク集マルノデアリマス、増産
ヲ計ルニハ、先決問題ハ製鍊場ノ設置ニ
アル、ソレヲ此ノ程度ノモノデハ當局ハ非
常ニ怠慢デハナイカ、何故積極的ナ御方針
ヲ御採リニナラスカト云フコトヲ私ハ此處
デ叫ビタイノデアリマス、其ノ點ニ付テ如
何ナル御方針デアリマスカ、今後ノ御方針
ヲ一ツ承テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 是ハ私が只今申
上ゲマシタノハ、日本産金振興株式會社ノ
營業ノ内容トシテ直接自ラ金ノ製鍊ニ當ル
場所ガ三箇所デアッテ、其ノ三箇所ハ既ニ金
ヲ出シテ居ルモノモアリマスガ、今建設途
上ノモノモアリマス、其ノ意味デ申上ゲタ

ノデアリマシテ、日本ノ産金事業ニ對シテ
之ヲ資金的ニ、或ハ其ノ他ノ方法デ援助ス
ル爲ニ、日本産金振興株式會社ガ關與シテ
居ル所ノ製鍊場ハ數十ニ達シテ居リマス、
是ハハッキリ其ノ數字ヲ申上ゲルコトハ出
來マセヌガ、數十ニ達シテ居ルト云フコト
ハ事實デゴザイマス、サウ云フ譯デアリマ
シテ、ソレ等ノ即チ數十ニ達スル製鍊場ニ
資金ヲ注ギ込ムトカ、其ノ他色々援助ヲ
スルトカ、全然別ニ自ラ採算ヲ度外視シテ
低位品ノ鑛石ヲ製鍊シテ、少シデモ純金ヲ
餘計ニ産出スルト云フノガ、其ノ三箇所デ
ゴザイマスカラ、其ノ點ハ是非一ツ御諒承
願ヒタイト存ジマス、ソレデ政府トシテモ
勿論此ノ三箇所デ宜イト云フコトハ、日本
産金振興會社直營ノ製鍊場ハ三箇所デ宜イ
ト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌノデ、
尠クトモコ、數年ノ間二十箇所位ハ全國ニ
サウ云フ製鍊場ヲ設ケテ、引合ハナクテモ
金鑛石ハ買取ツテ製鍊シテヤルゾト云フ氣
勢ハ示サセル積リデアリマスガ、取敢ズ三
箇所迄ハサウ云フ工場ガ出來マシタト云フ
御報告ヲ申上ゲタノデアリマス、尙實際ノ
産金振興事業ト致シマシテハ、金ノ探鑛獎
勵金ノ外ニ、選鑛場、製鍊場ノ建設助成金
ヲ先程申上ゲマシタガ、初メノ年ハ百六十
二萬圓、次ノ年ガ百八十萬圓ト云フコトニ
相成ツテ居リマス、昭和十四年度即チ本年度
ガ五百十萬圓、昭和十五年度ハ之ヲ五百四
十萬圓ニ殖シテ居リマス、年々十箇所カラ
二十箇所ノ選鑛場、製鍊場ノ建設助成金
ヲ今日迄出シテ來テ居ルノデアリマスカラ、
是等ノ金ノ製鍊場ガ全部活動致シマシタナ
ラバ、約二百ニ達スルモノデアリマシテ、
假令金ノ品位ガ落チタト、鑛物ノ品位ガ落

チタト假定致シマシテ、是ガ取扱フ所ノ鑛
量ノ絕對數量ハ相當ナモノニナルノデアリ
マス、尙産金獎勵ニ付キマシテハ生産力擴
充ニ關スル經費トシテ昭和十五年度一般豫
算ノ追加豫算トシテ千三百八十萬圓ヲ計上
セラレルコトニナッテ居リマス、其ノ中選鑛
場、製鍊場建設獎勵金ガ千八百八十萬圓デス
カ、ソレダケニナッテ居リスマカラ、只今松本
サンノ御心配ノ點ハ今マデサウ云フ方面カラ
萬全ヲ期シテ居ルノデアリマシテ、ドウカ
一ツ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○松本勝太郎君 色々御説明有難ウゴザイ
マシタ、此ノ以上ハ意見ニ互リマスノデ、
私ノ發言ヲ控ヘタイト思ヒマス、控ヘルコ
トニ致シマシテ、是デ私ハ質問ヲ打切りマ
ス

○男爵安場保健君 衆議院ノ方デモチヨッ
ト議論ガアツタヤウデ、御尋ネガアッテ、大藏
省ノ御説明モアツタヤウデアリマスガ、金ノ
値段ヲ世界ノ相場ヨリモ安クシテ、補助金
デヤツテ行クト云フコトニ付テノ質問ガア
タヤウナンデスガ、ドウモ金ノ買上値段ガ
低イ爲ニ、密輸出ト云フヤウナコトガ相當
行ハレルト云フコトハ、前カラノ問題ナン
デスガ、此ノ點ハッキリ一ツ御話ヲ承レ、
バ結構デアリマス

○政府委員(小金義照君) 私共鑛山行政ノ
立場カラ考ヘマシテモ、モウ買上値段等ガ、
建値一方デ上下シテ決メテ貰フト云フコト
ハ、是ハモウ一番難ナ問題デアリマシテ、
鑛山業者モサウ云フモノガアレバ經營ノ基
準ニソレヲ取ルト云フコトデ、大變便利ダ
ト云フヤウナ御説ヲ拜聽致シテ居マリス、
處ガ最近ノ實情ヲ申シマス、金ニ付キマ
シテハ之ヲ海外ニ持ッテ行ツタ場合ノ値段ト、

政府ノ買上値段トノ間ニ相當ノ開キガアル
コトハ御説ノ通りデアリマスガ、金ヲ強制
的ニ買上ゲテ、政府ガ其ノ額ヲ取ルト云フ
ヤウナコトハ私ハ極メテ宜シクナイコトダ
思フト、ノミナラズ片一方デ産金ヲ獎勵ス
ルト言ヒナガラ、サウ云フコトガアッテハ私
ハ相成ラヌト存ジマス、併シナガラ大藏大
臣モ申サレタ通り、金ノ買上値段ヲ今引上
ゲルコトハ低物價政策ノ見地カラ言ッテドウシテモ
出來ナイ、ソレヨリモ寧ロ増産部分ニ付テ
十分ナル獎勵制度ヲ設ケテ、ソレデ山ノ經
營上色々生ズル缺陷ヲ補填シテ行ツテ貰ヒタ
イト云フヤウナ説デアリマス、ソレカラ又
新産金ノ買上値段ヲ引上ゲルコトニ付キマ
シテハ、相當多額ニ上ツタ退職金ノ買上値段
等ヲ考ヘナケレバナラスノデ、ソレ等ノ點
モ考慮シテ、新産金ノ買上値段ハ引上ゲナ
イト云フ只今ノ政府ノ方針ノヤウデアリマ
ス、唯前ニ、退職金ヲ買上ゲタ場合ハハ歩
戻シマシテヤレバ宜イデヤナイカト云フヤ
ウナ説モ出タヤウニ、私ハ承知致シテ居リ
マスガ、是ハ非常ニ困難ダサウデアアルノミ
ナラズ、今後亦退職金ト云フ言葉ハ非常ニ
語弊ガアリマスガ、新産金以外ノ金ヲ買上
ゲルノニ付キマシテ、大藏省デ色々心配
ヲシテ居ルヤウデアリマス、ソレ等ノ點ヲ
考慮シテ、新産金ハ眞ニ「ゴスト」ガ掛ルコ
トヲ大藏省ト雖モ認メルカラ、是ハ大藏、
商工兩省、或ハ朝鮮總督府、臺灣總督府ト
協議ノ上、眞ニ新タナ増産部分ニ對シテ
ハ、何トカ之ヲ補ッテ行キタイト云フ今ノ處
見解ノ下ニ、事務的ニモ我々ハ折衝致シテ
居ルノデアリマス、唯其ノ場合ニ一體増産
ト云フモノヲ何處カラ勘定スルカト云フ問
題ガアリマス、是ハ唯買上量ガ昨年ニ比シ

テ今年はダケ殖エタト云フコトダケデハ、極メテ不公平ナ問題ガ起リマスノデ、一體「ノルマル」ナ状態デアラナラバ、此ノ金山ハドノ位出ルノガ普通ノ状態デアラカト云フヤウナ所カラ出發シテ、増産量ヲ定メタイト私共ハ考ヘテ、今其ノ考ノ方向ニ於テ折衝ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内正敏君 私ハ午前ノ石油問題ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、只今モ金ノ増産ニ付テ御話ガアリマシタヤウニ、金ノ買上値段ヲ上ゲルト云フコトガ、増産獎勵ニ一番手取早イ方法ダト思ヒマス、併シ低物價政策、或ハ爲替關係等ニ於テ、是ガムツカシイト云フコトモ尤モナコトデアリマスガ、石油問題ニ付テハ、ドウシテモ是ハ或ル程度マデ關稅政策ト云フコトガ顧慮セラレナケレバナラスト思ヒマス、今後何處迄助成シテ行カナケレバナラストガ、非常ナ長期ニ互ル助成デアリマスノデ、ソレニハナカ／＼獎勵政策デハ、石油、或ハ人造石油ノ増産ト云フコトハ、期待出來ナイト思ヒマス、ソレニハ「ドイッ」ガヤッタヤウニ、關稅ニ依ッテ石油ノ時價ヲ昂メテ行キ、サウシテ企業者ニ相當ノ採算ガ採レルト云フヤウニシテヤラナケレバ、ドウシテモ人造石油ノ仕事モ起ラナケレバ、石油ノ増産モ出來ナイト云フヤウニ思ヒマス、ソレナラバ低物價政策ニ低觸スルデヤナイカト云フ問題ニナリマスガ、是ハ國防ノ大問題デ、低物價政策ダッテ、ソレハ國防上カラ言ヘバ大問題デアリマスガ、同じ低物價政策ノ中デモ輕重ヲ考ヘナケレバイケナイト思ヒマス、石油、或ハ人造石油ノヤウナモノハドウシテモナクチャナラナイ、サウ無ケレバ多額ノ金ヲ以テ外國カラ買ハナケレ

バナラスト云フノデアリマスカラ、是ハ低物價政策ヲ、斯ウ云フ物ニ對シテ採ルベキモンデヤナイノデ、何ニデモ低物價政策ヲ採ルト云フノハ、ソレハモウ非常ナ短見、僻見デアリマシテ、ソレデヤ國ノ經濟或ハ産業ト云フモノハ成立シテ行カナイト私ハ思ヒマス、マア差當リ應急糊塗的ノ處置トシテ色々ナ獎勵法ハ必要デアリマセウガ、是ハ一ツ腰ヲ据エテ、ドウシテモ日本人造石油ノ製造ヲ盛ニシ、石油ノ増産ヲ圖ラナケレバナラスト云フヤウナコトデアリマスレバ、矢張り「ヒットラー」ガヤッタヤウニ、例ヘバ「ドイッ」ノ「ガソリン」ノ價格ト云フモノハ日本ノ「ガソリン」ノ約三倍シテ居ル、ソレデ初メテ「ドイッ」デ發明シマシタ「フイッシヤ」法ト云フモノガ成立シテ居ル、是ハドウシテモ日本デモ考ヘナケレバナラナイ、根本ノ永久ノ對策トシテハ私ハ關稅政策デ行クノガ一番國家ニ取ッテ有效ダト思フノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ御意見デアリマセウカ

○政府委員(小金義照君) 大河内先生ノ只今ノ人造石油ノ問題ニ關スル色々ナ政策ハ、極メテ私共有益ニ拜シタノデアリマスガ、係ノ政府委員、又ハ商工大臣ニ能ク旨ヲ御傳ヘ致シマシテ、其ノ上デ御答ヲ申上ゲルカ、或ハ適當ナ處置ヲ執ルヤウニ致シタイト思ヒマス

○子爵大河内正敏君 ソレデハ續イデ此ノ砂鑛法ニ付テ少シ伺ッテ見タイト思ヒマス、砂鑛法ノ今度ノ改正ヲ拜見シマス、トヨツト私共ニ能ク解ラナイ所ガアリマス、今度ノ改正ニ依リマシテ、從來ノ砂鑛ヲ採掘セムトスル者ニ對シテ、成ルタケ便宜ヲ與ヘテヤル、斯ウ云フノガ改正ノ趣旨ト思フノ

デアリマス、此ノ土地所有者ニ對シテハ通知サレルト云フコトガゴザイマシテ、又ソレニ對スルアトノ土地ノ砂鑛採掘前ト同ジヤウナ状態ニ戻シテヤルト云フコトガ保障サレテ居リマスルガ、今日ノ狀態デハ土地所有者ガ無法ナコトヲ申シマシテ、ナカナカ安イ補償料デハ應ジナイト云フノガ實情デアリマス、サウ云フ者ニ對シテドウ云フ條項デ御取締リニナルカト云フ問題デアリマス

○政府委員(小金義照君) 此ノ砂鑛法中改正法律案ノ骨子ト致シテ居リマスル所ハ、現行法ノ第九條ヲ改メマシテ、砂鑛權設定ノ手續ヲ簡易化スル、只今ノ所ハ第九條ガアリマスル爲ニ、ナカ／＼砂鑛權設定ニ至ラナイ、即チ砂鑛出願地ガ他人ノ所有ニ係ル時ハ、所有者ノ承諾ヲ受ケナケレバイケイ、此ノ承諾ヲナカ／＼與ヘナイ、此ノ承諾ニ關聯シテ色々ナ弊害ヲ生ジテ居ル、ソレカラ又承諾ヲ與ヘナケレバ自分デ砂鑛ノ出願ヲシナクチャナリマセスカラ、簡單ニ自分デ砂鑛ノ出願スル、自分ノ所有ニ係ル土地デアリマスカラ直グ許可ニナル、ソレデ或川ノ流域トカ、或ハ或地域ノ真中ニ自分ノ土地ノ所有權ヲ有ッテ居ルノ奇貨居クベシトシテ邪魔ヲスルト云フ弊害ヲ生ジマスノデ、先ヅ是等ノ點ヲ矯正シタイト云フノガ此ノ改正ノ眼目ニ其ノ點ヲ置イタ次第デアリマス、只今大河内先生カラ仰セニナリマシタ其ノ弊害ハ鑛業法デハドウシテモ處置出來ナイノデアリマス、ソレニ對シマシテハ權利ノ濫用ト云フヤウナ法理ヲ引ッ張ッテ來テ何トカナラスモノカト色々ナ點ヲ研究致シマシタガ、結論トシテハドウモ矢張り土地所有權ト鑛業權、或ハ砂鑛權トノ關係ハ矢張り具體的ノ場合ニ調整スル以外ニ方法ガナイノ

デ、其ノ際ハ關係官廳ト關係者トノ間ニ於テ解決スルヨリ外ハナイ、斯ウ云フコトニ實ハ相成ッテ居リマス、唯今日迄一般砂鑛權者ガ迷惑ヲサレタノハ九條ノ關係デアリマシタガ、是ハ直シマシタ、其ノ代リ土地所有者ニ付キマシテハ出來ルダケ其ノ土地所有者ニ不測ノ損害ヲ與ヘナイヤウニシタイ斯ウ云フ趣旨デ改正致シマシタ、唯今回ノ改正ノ中ニモ砂鑛採取ニ關シテ從來砂鑛業上必要ナル工作物ヲ設置スルト云フコトハ法律デ保護サレテ居リマセマシタガ、今回ハ砂鑛法第十七條ヲ改正致シマシテ鑛業法ヲ準用スルコトニ致シマシタ、從ヒマシテ砂鑛業上必要ナル工作物ノ施設ニ對シテハ、他人ノ土地使用ヲ爲スコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツタコトハ砂鑛ヲ實際ヤラレル方ニ付テ便利デアアル、斯ウ云フコトデアリマシテ、根本的ノ只今ノ問題ヲ處置スルニ至ラナカッタコトハ研究ノ期間モ短カッタ爲モアリマスガ、色々法理論上ノ難點モアルヤウデゴザイマス

○子爵大河内正敏君 モウ一ツ鑛業法デ伺ヒタイコトガアリマスガ、鑛業法ニハ色々ノ金屬及重要ナ鑛物ニ付テモ一々名前ガ列舉シテアリマス、之ニ列舉サレテ居ラナイ比較的アリフレテ居ナイ金屬、或ハ其ノ他ノ稀土類、サウ云フモノ、鑛業ニ對シテハ何トカ此ノ際規定ヲシテ載カナイト、折角アルモノガ採掘出來ズニシマウ、或ハソレヲ採掘スル爲ニハ、其ノ土地ヲ買ッテシマハナケレバナラスト云フヤウナ不便ガアリマスガ、例ヘバ今度入リマシタカラ宜シウゴザイマスガ、螢石ノ如キハ、螢石ノ山全體ノ地面ヲ買ッテシマハナケレバ採掘ガ出來マセヌ、人絹ニ使ハレマス「タンタラム」

トカ、或ハ又國防上海軍ノ探照燈ニ使ヒマ
ス「セシウム」ト云フヤウナモノハ朝鮮デ發
見サレテ今ソノ採掘サレヤウトシテ
居リマスガ、何カサウ云フモノニ適當ナ條
項ヲ設ケル譯ニ行キマセヌデセウカ、一々
名前ヲ擧ゲルト云フコトモ容易ナコトデナ
イシ、何カウマイ便法ハナイモノデセウカ
○政府委員(小金義照君) 鑛業法ハ列舉主
義ヲ取ツテ居リマスカラ、此ノ鑛業法ノ第二
條ニ列舉シテ居ラナイモノハ、ドウシテモ
鑛業法ノ適用ニ依ッテ地中カラ採出スルト
云フコトハ出來ナイト存ジマス、ソコデ如
何ナル標準デ鑛業法ニ之ヲ列舉シタカト申
シマス、大體直接金屬ヲ製鍊シ得ル鑛物
トカ、ソレカラ又坑道掘ヲ原則トスルヤウ
ナ鑛物ヲ大體目標ニ置キマシテ、ソレガ全
國のニ相當多量ニアルト云フ見込ノモノヲ
選ブト云フ風ヲ標準デ今迄ヤッテ來タカラ
デアリマス、ソレハ鑛業法ノ第三條ニ依リ
マシテ、鑛業法上ノ鑛物ニナリマス、土
地所有權カラ全然離レマシテ、サウシテ國
ノ所有ニ屬シテ、ソレカラ國ノ許可ヲ得テ、
即チ鑛業權設定ト云フ手續ニ依ッテ鑛業權
者ガ之ヲ掘探スルト云フヤウナ段取ニナリ
マスノデ、只今御指摘ニナリマシタヤウ
ナ、餘リ量ハナイガ、併シナガラ我が國
ノ産業上極メテ大切ナ土砂類デアルトカ、
金屬デアルトカ云フモノニ付キマシテ、之
ヲ鑛業法ニ入レルコトハ困難ダラウト云フ
コトハ大河内先生モ十分御認メニナッテ居リ
マスガ、之ヲ然ラバドウ云フ便法デ扱ッテ
宜イカト云フ點ニ付キマシテハ、只今ノ處
私共ノ研究シ、又承ツタ所デハ矢張りドウモ
土地所有權ノ内容トシテ取ルヨリ外ハナイ
ト思ヒマス、是ハ考ヘヤウニモ依リマスガ、

我が國ノ鑛業法ガ「プロイセン」トカ「ザク
セン」ノ系統ヲ汲ンデ居リマスガ、英米法
ハ確カ土地所有權ノ内容ニ鑛物採取ノ權能
ヲ織リ込デ居ルト私ハ記憶致シテ居リマス、
サウ云フヤウニ兩方比較致シテ見マス
ト、經濟のニ、或ハ技術のニ相當大袈裟ナ
モノハ鑛業法ニ入レテ、サウデナイモノハ
土地所有權ノ方デ始メシマフコト云フコ
トハ、何ダカ此處デ又鑛業法ヲ折角作ッテ
置キナガラ、英米法ノ土地所有權主義ノ方
ヘ戻ッテ來ルヤウデ、少シ私共自身モハッ
キリ納得ガ出來兼ネルヤウナ氣持ヲ持ッテ
居リマスケレドモ、只今ノ處、ドウモ仕方
ガナイト存ジマス

○大西虎之助君 此ノ百三條ノ規定ニ付テ
チヨット御伺ヒ致シタイト存ジマス、近來ノ
立法例ニハ能ク此ノ轉嫁罰ノ問題ガ出テ居
リマスノデ、必ズシモ此ノ法案ニ限ッテ譯デ
ハゴザイマセヌガ、此ノ鑛業法ニ於テ之ヲ
適用シマシタ場合ニハ、極ク微細ナ過失ガ
株式會社ノ法人ノ取締役ニ及ブト云フヤウ
ナコトガ頻々トシテ起ルノデアリイカト云
フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ
場合ニ此處ニ書カレテアリマス法人ノ取締
役ト云フモノガ、假ニ代表取締役ヲ選任致
シマシテ、他ノ取締役ノ代表權ガナクテモ
所謂通俗ニ申シマス平重役ト云フ程度ノ者
ニモ執行權ガアルト云フヤウナ意味合デ、
之ヲ適用サレルト云フ御意思デゴザイマス
カ、其ノ邊ニ付テ御伺致シタイト思ヒマス

○政府委員(小金義照君) 百三條ノ罰則ノ
適用ニ付キマシテハ、是ハ今日迄立法例モ
澤山ゴザイマス、殊ニ最近ノ立法例ハ大體
マア斯ウ云フ風ニナッテ居リマスガ、此ノ責
任ガ掛ッテ來ル所ノ法人ノ理事、取締役、其
ノ他法人ノ義務ヲ執行スル役員ト云フノハ、
是ハ代表取締役トカ、或ハ社長トカ、專務
取締役トカ云フ意味デハゴザイマセヌノデ
當該事犯ヲ擔當スル理事、取締役、其ノ他
法人ノ業務ヲ執行スル役員ト云フノデアリ
マシテ、如何ナル場合ニ是等ノ重役ニ責任
ガ掛ッテ來ルカト云フコトハ、鑛業警察規則
トカ、鑛業法施行細則ト云フヤウナ所デ、
色々細カク規定致シテ居リマシテ、些末ナ
コトハ減多ニ來ナイノデアリマス、唯鑛業
警察規則ノ方デハ、鑛業代理人ガ一番重イ
責任者ニ相成ツテ居リマスガ、今回此ノ鑛
業代理人ヲ……鑛業代理人ノ業務ノ中デ直
接重役ガ擔當シテ居ル部分ガアレバ其處迄
行クト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、
唯其ノ場合ニ體刑ハ課サナイデ、罰金ダケ
デアルト云フコトニナッテ居リマス

○大西虎之助君 今ノ御説明ヲ承リマス、
大體實例ニ於テハ適當ト認メルノデアリマ
スガ、第百三條ノ條文ノ書キ方ニ依リマス
ト、明ニ取締役ト云フコトガ指サレテ居リ
マスノデ、代表取締役、或ハ專務取締役ト
云フヤウナ、業務ヲ執行シテ居ル取締役ト
云フモノハ當然此ノ罰則ノ適用ヲ受ケルヤ
ウニ解釋サレマスガ、如何デゴザイマスカ
○政府委員(小金義照君) 只今ノ解釋ハ司
法省ト打合セタ通りデゴザイマシテ、サウ
云フ風ニ裁判所モ解スルコトニナッテ居リマ
ス

○大西虎之助君 ソレデゴザイマシタラ、
例ヘバ過失掘探ノ場合等ハ當然直接ノ鑛業
代理人、其ノ他ガ負フベキモノデ、本社ノ
社長トカ、其ノ他ノ者ニ及ベキモノデナ
イト私共考ヘルノデアリマスガ、不法掘探
ノ場合ニ鑛業權非ラザルヲ知ッテ掘探致シ

マシタ場合デモ、社長、或ハ專務ト云フヤ
ウナ方ヘハ此ノ罰則ハ適用サレナイト云フ
ヤウニ解釋シテ宜シウゴザイマスガ
○政府委員(小金義照君) 其ノ不法掘探ノ
場合ニ社長トカ、取締役トカ、サウ云フ法
人ノ理事者、或ハ業務ヲ執行スル社員ノ指
揮命令ニ出タ場合ニハ其ノ方ニ罰ガ掛ッテ
來マス

○大西虎之助君 大體了承致シマシタ、次
ニモウ一箇所御伺ヒ致シタイト思ヒマスガ、
ソレハ第四十二條ノ規定デゴザイマシテ、
「採掘權取消ノ登録アリタル時ハ鑛山監督局
長ハ直ニ之ヲ抵當權者ニ通知スヘシ、抵
當權者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日より三十
日以内ニ採掘權ノ競賣ヲ請求スルコトヲ
得但シ第三十八條第一項及第三十九條ノ
規定ニ依ル採掘權取消ノ場合ハ此ノ限ニ在
ラス」斯ウ云フ規定ガ現行法ニアルノデゴ
ザイマスガ、今日ノヤウニ我が國ガ非常時
ニ際シマシテ、鑛物ノ分布ノ狀態ヲ知ルコ
トガ必要デアリ、從ッテ其ノ増産ヲシナケレ
バナラナイ、斯ウ云フ時ニ當リマシテ、其
ノ増産スルノ一番大切ナノハ、御承知ノ
通りニ資金關係デアリ、如何ニシテ其採掘權
ニ對シテ土地抵當權ヲ付シテ金ヲ借リルカ
ト云フコト、斯ウ云フコトガ最も大切ナ中
ノ一ツダト思ハレマスガ、此ノ規定ニ依リ
マス、第三十八條ノ第一項ノ所ハ「錯誤
ニ因リ鑛業ノ出願ヲ許可シタルトキハ主務
大臣ハ鑛區ノ改正ヲ命ジ又ハ鑛業權ヲ取消
スヘシ」、斯ウ云フコトニナッテ居リマスノ
デ、金融業者ガ假ニ或鑛業權者ニ對シマシ
テ抵當權ヲ設定シテ金ヲ貸シタ、サウ云フ
場合ニ於キマシテ、若シソレガ政府ノ方ガ
錯誤ニ依ッテ鑛業ノ出願ヲ許可シタ、斯ウ云

錯誤ニ依ッテ鑛業ノ出願ヲ許可シタ、斯ウ云

フ場合ニハ取消シ得ルコトニナリマシテ、金融業者ハ不測ノ損害ヲ蒙ルト云フヤウナ虞ガアルヤウナ建前ニナツテ居リマスガ、今日鑛業ノ増産ヲ圖ラナケレバナラヌ時ニ、斯ウ云フヤウナ規定ハ甚ダシク矛盾シタヤウニ思ハレマスガ、之ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 第三十八條ノ錯誤ニ依ツテ鑛業ノ出願ヲ許可シテ、其ノ鑛業權自體ヲ全部取消スト云フヤウナコトハ殆ドゴザイマセヌ、併シナガラ法理論上シテハアリ得ルノデ、サウ云フ規定ヲ置イテ居リマス、又鑛區ノ改正ヲ命ジ「ト云フコトハ地種地目ト云フヤウナコトヲ間違フ書込シテ云フ爲ニ、鑛區ノ改正ヲ要スルヤウナ場合ヲ豫想シテ居リマスノデ、是ハ多クノ場合、鑛區ノ減程度ニ止ルコトト存ジテ居リマス、ソレカラ實際ノ金融方面ノ御話ヲ承リマシタガ、金融業者ガ鑛山ニ金ヲ貸サナイノハ三十八條ヤ、第三十九條ノ規定ヲ恐レテ金ヲ貸サナイト云フノデナクシテ、寧ロ探鑛ガ不十分ナルトカ、或ハ經營者自體ニ何ガシカノ信用ガ置キ兼ネルト云フヤウナノガ、重點ノヤウニ私共ハ承知致シテ居リマスノデ、此ノ三十八條、竝ニ三十九條、及四十二條ノ規定ガゴザイマシテモ、今ノ開發促進ト云フ見地カラ大シタ支障ニハナラナイト考ヘテ居リマス

○太西虎之助君 私モ今御説明ガアリマシタ通りニ、金ヲ借リル實際上カラ申シマシタラバ、當局ノ御説明ノ通りダト私ハ考ヘテ思フアリマスガ、詰リ立法ノ精神ト致シマシテ、其ノ點斯ウ云フ規定ガアルト云フコトガ、今日ノ實情ニ即シナイノデハナイカト斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、次

ニ只今ノ御説明ノ中ニモアリマシタガ、固ヨリ錯誤ニ因ツテ探鑛權ガ全部取消サレルト云フ例ハ殆ドナイト思ヒマスガ、御承知ノ通りニ此ノ五十萬坪デアルトカ、或ハ百萬坪ト云フ風ナ鑛區全體トシテハアリマシテモ其ノ中ニ實際價值ノアル鑛區ノ存シテ居ル箇處ト云フモノハ、極メテ少イ箇處ガ多イノデアリマシテ、或部分ノ増減ニ依リマシテ、其ノ點ガナクナツタ場合ニハ殆ド其ノ鑛區ノ價值ト云フモノハ半減、或ハ全然ナイモノニ近イコトニナル例ガアルノデアリマシテ、サウ云フ場合ヲ想像致シマス、此ノ規定モ相當重視スル必要ガアルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、今一應其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小金義昭君) 三十八條ノ規定ノ運用ニ付キマシテハ、十分是ハ注意ニ注意ヲ重ネナクチャイカスト思ヒマス、殊ニ御説ノヤウナ場合ハ概ネ其ノ基本トナルベキ地圖ガ不完備デアルト云フコトニ基キコトガ相當アルヤウニ私ハ承知シテ居リマス、ソコデ先ヅ基本ノ裏帳ト云フヤウナモノニナルベキ地圖ノ完備ヲ大體急イデ居リマシタカラ、鑛區整理費ト云フヤウナ臨時費ヲモ戴イテ其ノ方ヲ努メテ促進致シマシタカラ、比較的小ナイト存ジマスルガ、御説ノ點ハ餘程注意致シタイト存ジマス

○委員長(子爵保科正昭君) 宜シウゴザイマス
○大西虎之助君 モウ一點御尋ネ致シタイト思フノデアリマス、先程砂鑛法ニ付テ大河内子爵カラ御尋ガアリマシタガ、此ノ砂鑛法ノ第十二條ナリ、第十三條ニ相當ノ補償金ト云フ字ヲ使ハレテ居リマスガ、此ノ

相當ト云フノハドウ云フ風ニ解釋致シテ宜シイノデセウカ

○政府委員(小金義昭君) 是ハ大體ニ於テ話合ノ金額デアリマシテ標準ハ全ク立タナイノデアリマス

○大西虎之助君 今度第九條ノ此ノ規定ガ變更サレマシテ、砂鑛權者ニ取リマシテ仕事ヲスル上ニ非常ニ便利ニナルト云フコトヲ私ハ非常ニ喜バシイコトト考ヘルノデアリマスガ、同時ニ所有權ガ從前ノ其ノ土地ノ權利ニ相當ノ侵害ヲ受ケルト云フコトモ事實デアリマスノデ、恐ラクハ此ノ補償金ノ價格、其ノ他ニ付キマシテ、土地所有者ナリ地上權、或ハ永小作權其ノ他ノ權利ノ所有者ト砂鑛權者トノ間ニ始終「トラブル」ガ起ツテ來ルノデハナイカト思フノデアリマシテ、之ニ對シテ大體ノ標準ヲ御決ニナリ、相當ノ補償金ト云フモノヲ定メラレル機關ガ何カ設ケテ置カナクナラバ、何時モソコニ常ニ争ヒガ起キテ、却テ面倒ナコトガ生ズルノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ御考ヘ如何デセウカ

○政府委員(小金義昭君) 御説ノヤウニ砂鑛權ノ設定ガ簡易ニナリマシタ爲ニ、土地所有者ノ權限ガ不當ニ縮小サレルト云フコトハ餘程考ヘナクテハイカスコトデアリマスルガ、現在砂鑛ニシテモ、砂金ニシテモ、砂「クローム」、砂白金、其ノ他有エルモノガ直グ砂鑛デアアル爲ニ取レルニ拘ラズ、九條ノヤウナ規定ノ爲ニ隨分困ツテ居ル向モゴザイマス、ソレヲ權利設定ノ手續ヲ簡易化スルコトハ是ハ御認メ願ヘルコトト思ヒマスガ、所有權ノ方ヲ働カラ申シマス、第十二條ノ規定デ土地ニ於テ砂鑛ヲ採取セムトスル者ニ對シ相當ノ、補償金ヲ請求ス

ルコトガ出來ルノデアリマスカラ、事業ニ著スル前ニソレヲ大體折衝シテ決メテ行クト云フノガ通例ノヤウニ承知シテ居リマス、此ノ補償金ノ相當額ト云フノ役所デ示スト云フコトハ非常ニ困難デアアルノミナラズ、砂鑛ハ流域ニ沿ウテ設定スル場合モアルシ、普通ノ土地ノ上ニ設定スル場合モアリマスノデ、其ノ點ハナカ／＼ムツカシイト存ジマス、唯此ノ改正法律案ヲ愈、施行スル迄ニハ相當ナ準備期間モアリマスノデ、御説ノ點ハ鑛山監督局長ヲシテ十分留意セシメ、地方長官等トノ連絡ノ途モ開カセタイト存ジマス

○大西虎之助君 大體ノ御考ハ能ク分リマシタガ、實際上カラ考ヘマシテ今度ノ改正ハ至極私ハ只今申上ゲマシタヤウニ結構ト思ヒマスルガ、之ヲ實際效果アラシメル爲ニハ、砂鑛權者ハ直チニ仕事ニ著手シ得ルト同時ニ、土地ノ所有者ニ對スル或部分ノ侵害モ妥當ニ補償サレルト云フコトガ必要ナンドデアリマシテ、ソレニハ或一定ノ標準ヲ設ケテ置キマシテ、其ノ標準ニ依ツテ豫メ砂鑛權者ヲシテ供託セシムルトカ、斯ウ云フ風ニシテ置キマシテ、其ノ價格ノ妥當ナリヤ否ヤト云フコトハ、訴願ニ依リ以前ニ、何等カノ方法ニ依ツテ後カラ纏メテ行ツテ仕事ハ先ニ出來ルノダト斯ウ云フ風ニサレナカツトデハ、實際上ハ出來ルコトニナツテモ前以テ補償スルトカ、或ハ供託スルト云フコトノ爲ニ仕事ガ遅レルヤウナ場合ガ實際上起リ得ルノデハナイカト考ヘマスガ、如何デゴザイマセウ

○政府委員(小金義昭君) 砂鑛法ノ規定ハ只今ノヤウナ供託制度ヲ認メテ居リマセヌガ、兩者協議ヲシテソウシテ其ノ協議ガ調

ハナカッタ時トカ、協議ヲナスコトガ出來ナイ時ハ、砂鑛權者ハ裁決ノ申請ヲスルト云フヤウナコトデ、先ヅ十二條以下ノ規定デ今ノ所大體アト行政上ノ補ヒヲスレバヤツテ行ケルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ我々考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵保科正昭君) 宜シウゴザイマスカ、只今柳原部長ガ見エマシテ、大河内子爵ノ先程ノ石油ニ對スル御質問ニ對シテ御説明ヲサレルサウデアリマス

○政府委員(柳原博光君) 大河内子爵ノ御質問ノ要點ダケヲ只今承リマシタガ、人造石油ノ振興増産ニ對シテハ關稅ヲ上ゲテ行クコトガ一番適當ナル方法デハナイカ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ拜承致シマシタ、人造石油ノ振興ニ付キマシテハ燃料政策ノ見地カラ當局モ高價格政策ヲ以テ行カナケレバナラスト云フコトハ政策上考ヘテ居リマス、併シ其ノ高價格政策ヲ執リマス時期トカ、或ハ方法等ニ付テハ四圍ノ狀況、其ノ他ヲ考慮シテ實施スル考デゴザイマスガ、御説ノ如ク人造石油ノ増産振興ニ對シテハ高價格政策ヲ以テ行クコトガ適當ナル方法デアルト云フ御意見ニハ全ク同感デゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) 他ニ御質問ゴザイマセスカ、モウ御質問ガゴザイマセスカレバ、兩法案ノ質問ハ是ニテ打切りマシテ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) 御異議ガナケレバ兩案ノ質問ヲ打切りマシテ、是ヨリ有機合成事業法案ヲ議題ト致シマス、テヨット休憩致シマス

午後三時二分休憩

午後三時八分開會
○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ會議ヲ續行致シマス、有機合成事業法案ヲ議題ト致シマス

○政府委員(加藤鐵五郎君) 有機合成事業法案ノ立案ノ根本趣旨ハ本會議ニ於テ申述ベテ置キマシタガ、茲ニハ本法案ノ内容ニ付テ其ノ大綱ヲ御説明申上ゲ、本法案提案ノ理由ヲ明カニ致シタイト考ヘマス、本法律案ハ、内外ノ諸情勢ニ鑑ミ、國防ノ整備竝ニ産業ノ發達ヲ圖ラムガ爲ニ、本邦ニ於テ、未ダ確立ヲ見ルニ至ラザル有機合成事業ヲ本格的ニ確立セムトスルノ趣旨ニ基イテ立案致シタルデアリマス、有機合成事業ト申シマスノハ、「カーバイド」又ハ石炭ヲ原料トシ「アセチレン」瓦斯、又ハ水性瓦斯等ヨリ發足致シマシテ、合成「ゴム」、合成「トリオール」、「メタノール」、「アセトン」各種重合樹脂等、國防上、産業上重要ナル物資ヲ造成スル事業デアリマシテ、其ノ範圍ハ極メテ廣汎多岐ニ亘リテ居リ、化學工業ノ一重要部門トシテ將來大ナル發展ヲ期待セラレテ居ルノデアリマシテ、本法案ハ斯業ノ確立ヲ圖ル爲、主要ナル有機合成事業ヲ政府ノ許可ヲ受ケベキ事業ト爲シ、之ニ對シ適切有效ナル助成監督ヲ行フコトヲ以テ、其ノ骨子ト爲シタルデアリマス、即チ本法案ニ於テハ第一ニ主要ナル有機合成事業ハ之ヲ政府ノ許可ヲ受ケベキ事業ト致シタルデアリマシテ、許可ニ際シテハ需要供給ノ關係、竝ニ製造技術、及企業能力ノ適否等ヲ考慮シ無用ノ濫立競争ヲ防止シ、以テ其ノ綜合的、計畫的ノ發達ヲ期スル考デアリマス、尙有機合成事業ノ國防上竝ニ産業上ニ於ケル重要性ニ鑑ミマシテ、許可ヲ受

ケ得ル者ノ資格ヲ制限シ、企業ノ支配權ガ日本人ノ手ニ在リト認メラル、會社ニ對シテノ事業ノ許可ヲ致スコトト致シタルデアリマス、第二ニハ許可ヲ受ケタル會社ニ對シマシテハ、社債ノ募集ニ付商法ノ特例ヲ設ケテ資金調達上ノ便益ヲ與ヘ、又必要ニ應ジ土地收用ノ權利ヲ付與シ、尙其ノ事業ノ確立ヲ妨グルノ虞アル物品ノ輸入ヲ制限シ、又ハ之ニ對シ輸入稅ノ増課ヲ爲ス等ノ助成方策ヲ講ジ、更ニ國防上、産業上特ニ重要ナル有機合成事業會社ニ對シマシテハ、一定ノ期間所得ニ對スル法人稅、營業稅、其ノ他ノ課稅ヲ免除致シマス

ト共ニ、右ノ會社ガ輸入致シマスル器具機械ニ對シテモ、一定期間輸入稅ヲ免除シテ其ノ負擔ヲ輕カラシメテ居ルノデアリマス、加之重要有機合成品ノ製造ヲ爲スル試驗研究ヲ爲ス者ニ對シマシテハ、必要ニ應ジ獎勵金ヲ交付スル等ノ方策ヲ採リマシテ、斯業ノ速カナル確立ヲ期シタ次第デアリマス、第三ニハ上述ノ如ク許可會社ニ對シテ保護助成ヲ致シマスルト共ニ、之ニ對シ産業上、竝ニ國防上適當ナル指導監督ヲ行フコトガ必要デアルト認メラレマス、之ニ關スル規定ヲ設ケタルデアリマス、即チ有機合成事業會社ハ毎年事業計畫ヲ定メテ之ヲ政府ニ提出シ、又之ヲ變更セムトスル時ハ届出ヲ要スルモノトシ、尙業務ノ狀況其ノ他ニ關シテモ常時諸般ノ監督ヲ爲スコトト致シマシテ、之ニ依ッテ事業ノ合理的、且健全ナル發達ヲ指導シテ行クコトト致シタルデアリマス、更ニ有機合成事業會社ニ對シテハ、斯業ノ經濟上將又軍事上其ノ占ムル重要ナル位置ニ鑑ミマシテ、

有機合成品ノ供給ノ圓滑、竝ニ價格ノ公正ヲ圖ル爲、必要ナル命令ヲ爲シ、又公益上必要アリト認ムル時ハ、其ノ設備ノ擴張、若ハ改良、又ハ製造方法ノ變更ヲ命ジ得ルノ權限ヲ政府ニ留保致シマスルト共ニ、有機合成品ニ關スル軍事上必要ナル事項ヲ政府ニ於テ命ジ得ルヤウ致シタルデアリマス、第四ニハ有機合成事業ノ重要性ニ鑑ミマシテ、學識經驗アル者、及官吏ヨリ成ル有機合成事業委員會ヲ設ケマシテ、本法ノ施行ニ關スル重要ナル事項ニ付テハ、之ヲ其ノ委員會ニ付議スルコトト致シタルデアリマス、最後ニ本法施行ノ際現ニ存スル有機合成品ノ製造事業者ニシテ、本法ノ適用ヲ受ケベキモノニ關シマシテハ特ニ是等ノ者ノ利益ヲ考慮致シマシテ、一定期間内ニ届出ヲ爲スコトニ依リ、其ノ當時ニ於テ營業ミツツアル事業ハ本法ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做シ、新タニ許可ヲ要セズシテ之ヲ續行シ得ルコトト爲シタルデアリマス、以上ハ本法律案ノ大要デアリマスガ、是ハ本邦有機合成事業ノ確立ヲ圖ル上ニ於テ、極メテ緊要適切ナ施設デアルト考ヘルノデアリマス、何卒御審議アラムコトヲ希望致シマス

○委員長(子爵保科正昭君) 他ニ政府ノ方デ御發言ニナル必要ハゴザイマセスカ……ソレデハ今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、既ニ諸君ノ御手許ニ有機合成事業法案ノ參考書ガ廻ッテ居ルコトト信ジマスニ依ッテ、明朝午前十時カラ會議ヲ開キマシテ此ノ質問ニ移リマスカラ、ソレ迄御調査置キヲ願ヒマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十五分散會

第四部第一八類 鑛業法中改正法律案特別委員會會議事速記第三號 昭和十五年三月十九日 貴族院

出席者左ノ如シ

委員長 子爵保科 正昭君
副委員長 男爵伊藤 一郎君
委員

政府委員

商工政務次官 加藤 鏑五郎君
商工省鑛產局長 小金 義照君
商工省化學局長 永田 彦太郎君
燃料局事務官 柳原 博光君

公爵岩倉 具榮君
伯爵柳澤 保承君
子爵大久保 立君
子爵大河内 正敏君
岡 喜七郎君
長 世吉君

男爵肝付 兼英君
男爵安場 保健君
倉知 鐵吉君
小坂 梅吉君
松本勝太郎君
大西虎之介君
秋田 三一君
渡邊 甚吉君